

TOSHIBA

東芝デジタル複合機

トラブルシューティングガイド [ハードウェア編]

**e-STUDIO5516AC/6516AC/7516AC
e-STUDIO6518A/8518A**

- このたびは東芝デジタル複合機をお買い上げいただきましてまことにありがとうございます。
- お使いになる前に取扱説明書をよくお読みください。お読みになった後は必ず保管してください。

©2018 TOSHIBA TEC CORPORATION All rights reserved

本書は、著作権法により保護されており、東芝テック株式会社の承諾がない場合、本書のいかなる部分もその複写、複製を禁じます。

はじめに

このたびは東芝デジタル複合機をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。この取扱説明書は、本機をご使用中にトラブルと思われることが生じた場合の原因および対処方法について説明しています。本機を最良の状態でお使いいただくために、この取扱説明書をいつもお手元に置いて有効にご活用ください。

■ 本書の読みかた

□ 本文中の記号について

本書では、重要事項には以下の記号を付けて説明しています。これらの内容については必ずお読みください。

⚠ 警告 「誤った取り扱いをすると人が死亡する、または重傷^{*1}を負う可能性があること」を示しています。

⚠ 注意 「誤った取り扱いをすると人が傷害^{*2}を負う可能性、または物的損害^{*3}のみが発生する可能性があること」を示しています。

注意 操作するうえでご注意いただきたい事柄を示しています。

補足 操作の参考となる事柄や、知っておいていただきたいことを示しています。

 関連事項を説明しているページを示しています。必要に応じて参照してください。

*1 重傷とは、失明やけが・やけど（高温・低温）・感電・骨折・中毒などで、後遺症が残るものおよび治療に入院・長期の通院を要するものを指します。

*2 傷害とは、治療に入院や長期の通院を要さない、けが・やけど・感電を指します。

*3 物的損害とは、財産・資材の破損にかかる拡大損害を指します。

□ 本書の対象読者について

本書は一般使用者および機器管理者向けの取扱説明書です。

□ 本書の対象機種について

本書の対象機種は、本文中で以下のように表記しています。

対象機種	本文中の表記
e-STUDIO5516AC/6516AC/7516AC	e-STUDIO7516AC Series
e-STUDIO6518A/8518A	e-STUDIO8518A Series

□ オプション機器について

使用可能なオプション機器は、本機の[かんたん操作ガイド](#)をご覧ください。

□ 本文中の画面と操作手順の説明について

お使いの機種やオプション機器の装着状況、OSのバージョンやアプリケーションによっては、表示される画面が異なることがあります。

□ 商標について

商標については[安全にお使いいただくために](#)をご覧ください。

目次

はじめに.....	3
本書の読みかた	3

第1章 機体に関するトラブル

こんな画面が表示されたら	8
タッチパネルのメッセージ一覧.....	12
紙づまりの解除.....	18
紙がつまっている場所を画面で確認する	18
紙づまりを解除する.....	19
両面同時原稿送り装置下部.....	21
両面同時原稿送り装置上部.....	22
大容量給紙装置（オプション）.....	24
カセット給紙部.....	26
カセット	27
手差しトレイ	28
機体右側面	28
両面ユニット	31
フィニッシャおよびホールパンチユニット（共にオプション）.....	33
サドルステッチ部（オプション）.....	36
排紙部	42
中継ユニット	45
用紙サイズの設定間違いによる紙づまりの解除	47
ステイプラの針づまりの解除	52
フィニッシャのステイプラ	52
サドルステッチユニットのステイプラ	54
トナーカートリッジの交換	56
カラー機	56
モノクロ機	58
トナーが完全になくなる前にトナーカートリッジを交換するときの対処.....	60
廃トナーボックスの交換	64
ステイプラの針の補充	68
フィニッシャのステイプラ	68
サドルステッチユニットのステイプラ	69
パンチ肩ケースの清掃	72

第2章 故障かな？と思ったときは

故障かな？と思ったときは	74
操作全般について	74
原稿・用紙について	75
日常のお手入れ	77
保守サービスについて	78
索引	79

1

機体に関するトラブル

本章では、用紙、トナー、ステイプラなどの印刷や仕上げに関する問題の対処方法を説明します。また、本機の使用上必要なメンテナンスと消耗品の補充方法についても説明します。

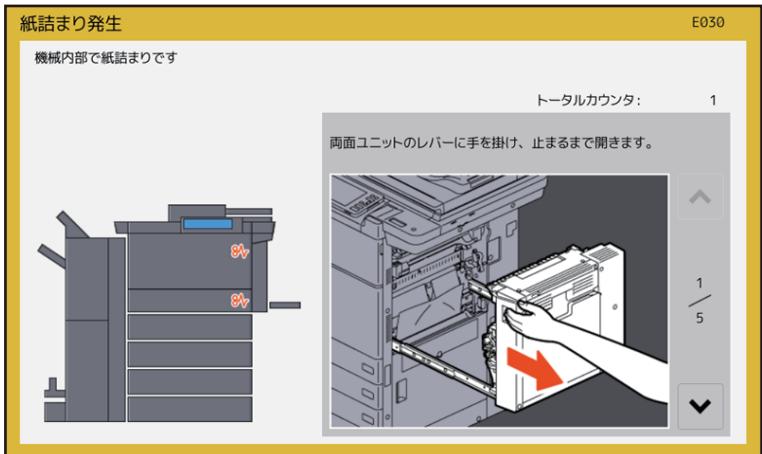
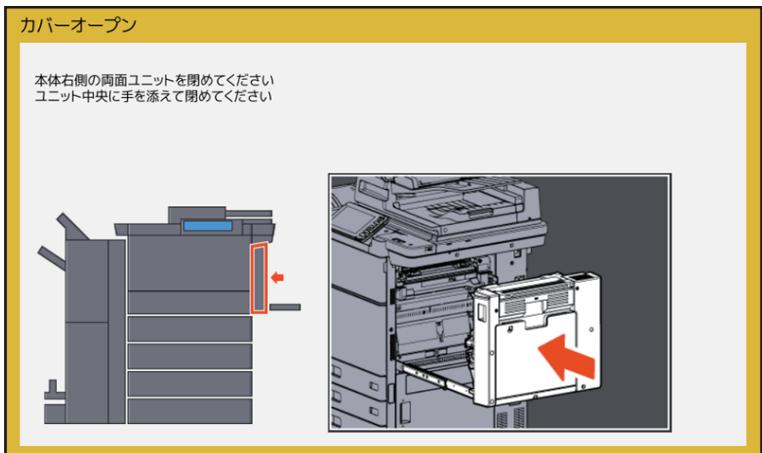
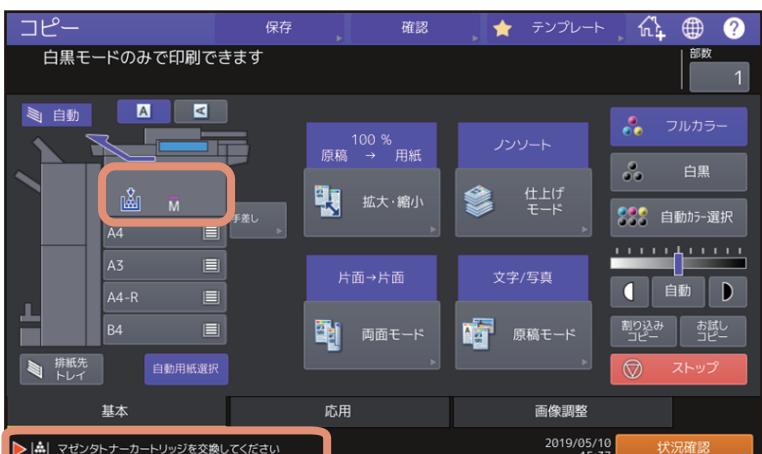
こんな画面が表示されたら	8
タッチパネルのメッセージ一覧	12
紙づまりの解除	18
紙がつまっている場所を画面で確認する	18
紙づまりを解除する	19
両面同時原稿送り装置下部	21
両面同時原稿送り装置上部	22
大容量給紙装置（オプション）	24
カセット給紙部	26
カセット	27
手差しトレイ	28
機体右側面	28
両面ユニット	31
フィニッシャおよびホールパンチユニット（共にオプション）	33
サドルステッヂ部（オプション）	36
排紙部	42
中継ユニット	45
用紙サイズの設定間違による紙づまりの解除	47
ステイプラの針づまりの解除	52
フィニッシャのステイプラ	52
サドルステッヂユニットのステイプラ	54
トナーカートリッジの交換	56
カラー機	56
モノクロ機	58
トナーが完全になくなる前にトナーカートリッジを交換するときの対処	60
廃トナーボックスの交換	64
ステイプラの針の補充	68
フィニッシャのステイプラ	68
サドルステッヂユニットのステイプラ	69
パンチ屑ケースの清掃	72

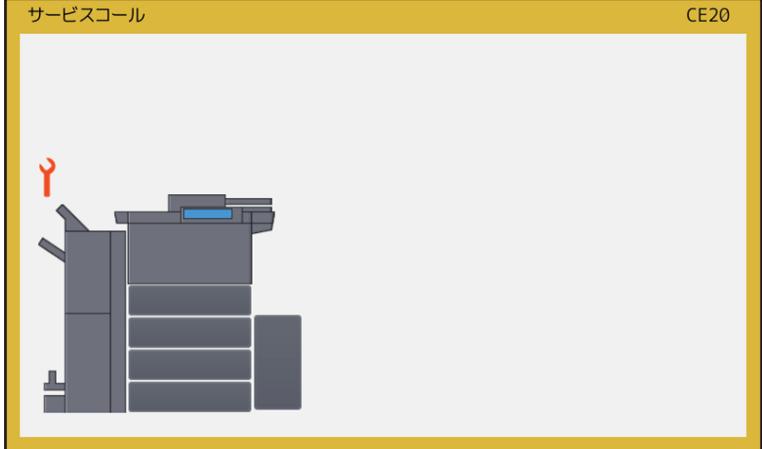
こんな画面が表示されたら

本機のタッチパネルには、本機の状態に応じてさまざまな画面が表示されます。ここでは、代表的な不具合の画面表示例と対処のしかたについて説明します。

画面表示	意味／対処
 The image shows the touch panel interface for a copy operation. At the top, there is a message box with the text "コピー用紙を補給してください" (Please replenish copy paper). This message is highlighted with a red oval. Below the message, the main menu includes options like "100 % 原稿 → A4", "ノンソート", and "フルカラー". The bottom of the screen shows the date and time as "2019/05/10 15:45" and a status bar with "用紙を補給して下さい" (Please replenish paper).	<p>画面上部のメッセージ表示エリアに、不具合の発生などをお知らせするメッセージが表示されることがあります。</p> <p>代表的なメッセージについては、以下のページを参照してください。</p> <p>P.12 「タッチパネルのメッセージ一覧」</p>

画面表示	意味／対処
 <p>The screenshot shows the copier's control panel interface. A red box highlights the 'Paper Size' section, which displays a warning icon (triangle with three dashes) and the text '---'. This indicates that the selected paper size does not match the actual paper size loaded in the tray.</p>	<p>セットした用紙のサイズとは異なるサイズが表示されている場合や「---</p> <ul style="list-style-type: none"> カセットにセットできないサイズの用紙をセットしていないか。 カセットにセットできる用紙のサイズについては、仕様ガイドを参照してください。 非定形の用紙をセットしていないか。 [ユーザ設定サイズ] を押し、用紙サイズを手動で設定してください。 カセット内の用紙と、サイドガイドや後端ガイドとの間が空き過ぎていないか。用紙、サイドガイド、後端ガイドを正しい位置にセットし直してください。 AB系列の用紙をセットしたのに [自動 (inch)] を選んでいないか。LT系列の用紙をセットしたのに、[自動 (mm)] を選んでいないか。 セットした用紙の系列に合ったボタンを押してから、用紙をセットし直してください。定形サイズの用紙をセットしたのに異なるサイズが表示されている場合は、手動で用紙サイズを設定してください。手動でサイズを設定するには管理者による設定の変更が必要です。詳細は設定管理ガイドを参照してください。

画面表示	意味／対処
	<p>原稿や用紙がつまっています。 画面のガイドを見ながら、 つまっている紙を取り除いてく ださい。</p> <p> P.18 「紙づまりの解除」</p>
	<p>本機のカバーが開いています。 画面に示されているカバーを確 実に閉めてください。</p>
	<p>トナーがなくなりました。新しいト ナーカートリッジに交換してく ださい。</p> <p> P.56 「トナーカートリッジの 交換」</p>

画面表示	意味／対処
<p>廃トナーボックス交換</p> <p>廃トナーボックスを交換してください</p> <p>パンチユニットのカバーを開けます。</p> 	<p>廃トナーボックスがいっぱいです。画面のガイドを見ながら、新しい廃トナーボックスに交換してください。</p> <p>P.64 「廃トナーボックスの交換」</p>
<p>サービスコール</p> <p>CE20</p> 	<p>サービスエンジニアによる調整が必要です。サービスエンジニアまたは弊社販売店にご連絡ください。</p> <p>その際、画面右上に表示されるエラーコード（C***）を担当者にお知らせください。</p> <p>警告</p> <p>分解・改造・修理はしないこと 感電・火災・けがの原因となります。</p> <p>動作不良・故障時はサービスエンジニアまたは弊社販売店へご連絡ください。</p>

タッチパネルのメッセージ一覧

画面上部のメッセージ表示エリアに、不具合の発生などをお知らせするメッセージが表示されることがあります。以下の表では、代表的なメッセージの意味と対処のしかたを50音順に並べて説明しています。

メッセージ	意味	対処のしかた
*** カバーを閉めてください	「***」で示すカバーが開いている。	開いているカバーを画面上で確認し、カバーを閉めてください。
*** で紙詰まりです	機体内部で用紙がつまつた。	画面に表示されるガイダンスに従って、つまつた用紙を取り除いてください。 P.18 「紙づまりの解除」
*** トナーがなくなりました 新しいカートリッジと交換してください	トナーがなくなった。(カラー機の場合、「***」に対象の色が表示されます。)(複数の色のトナーがなくなった場合は、色の名前が以下の略称で表示されます。 Y: 黄、M: マゼンタ、C: シアン、K: 黒)	トナーがなくなった色を画面上で確認し、トナーカートリッジを交換してください。(このメッセージが表示されてから約2000枚印刷できます。印刷条件によって印刷できる枚数は変化します。) P.56 「トナーカートリッジの交換」
*** トナーが認識されません トナーカートリッジを確認してください	トナーカートリッジが正しく挿入されていない。(カラー機の場合、「***」に対象の色が表示されます。)	トナーカートリッジを正しく挿入してください。 P.56 「トナーカートリッジの交換」
	トナーカートリッジの接点が汚れている。	接点を柔らかい布で拭いてください。
	推奨品以外のトナーカートリッジを使用している。	推奨トナーカートリッジを使用してください。 P.56 「トナーカートリッジの交換」
* 段目カセットの用紙サイズが間違っています 用紙の向きとサイズをご確認ください。	「*」で示すカセットに入っている用紙のサイズと、機体に登録されている用紙サイズが一致していないため用紙がつまつた。	紙づまりを解除しても、用紙サイズを登録し直すまで、続けて紙づまりが起こります。以下のページを参照して対処してください。 P.47 「用紙サイズの設定間違いによる紙づまりの解除」
TRU ボックス交換	サービスマンに連絡してください。	サービスエンジニアによる交換作業が必要です。弊社販売店にご連絡ください。
新しい廃トナーボックスを準備してください	廃トナーボックスがもうすぐいっぱいになる。	新しい廃トナーボックスをお手元にご準備ください。
おまちください セルフチェック中です	画質を維持するために必要な調整を行っている。	調整が終わり、メッセージが消えるまでお待ちください。
機体設定調整中です。印刷再開までお待ちください。	機体内の温度調整や画質を維持するために必要な調整を行っています。	このメッセージは約3分間表示されることがあります。調整が終了し印刷が再開されるまでお待ちください。
原稿の状態を確認して直してください	原稿送り装置内部で原稿がつまつた。	タッチパネルに表示されるガイダンスに従って、つまつた原稿を取り除いてください。 P.22 「両面同時原稿送り装置上部」
	セットした原稿の向きやサイズが正しくない。	原稿の向きとサイズを確認してから、再度原稿送り装置に原稿をセットして、操作し直してください。
原稿の向きを変えてください	セットした原稿の向きが正しくない。	原稿の向きを90度変えてセットし直してください。

メッセージ	意味	対処のしかた
現像剤（＊）の保守時期です サービスに連絡して下さい。 (色の名前は以下の略称で表示されます。Y: 黄、M: マゼンタ、C: シアン、K: 黒)	「＊」で示す色の現像剤が少なくなった。	弊社販売店にご連絡ください。
この用紙サイズは印刷できません 別のカセットを選択してください	排紙先として指定したトレイからは出力できないサイズの用紙に印刷しようとした。	印刷ジョブを削除してから、出力できる排紙先を指定して印刷し直してください。 用紙の種類と排紙先の制約事項については、 かんたん操作ガイド を参照してください。
この用紙種類は印刷できません 別の用紙種類を設定してください	排紙先として指定したトレイからは出力できない種類の用紙に印刷しようとした。 (特殊紙や厚紙4の用紙を、 MJ-1111/MJ-1112の下段排紙トレイに出力しようとした。)	印刷ジョブを削除してから、出力できる排紙先を指定して印刷し直してください。
コピー可能枚数を超える動作を中止します	原稿を読み込んでいる途中で、部門やユーザに設定されているコピー可能枚数の上限を超えた。	コピー可能枚数の設定について詳しくは、管理者にお問い合わせください。
コピーできます（＊＊＊トナーが認識されません） トナーカートリッジを確認してください	トナーカートリッジが正しく挿入されていない。(カラー機の場合、「＊＊＊」に対象の色が表示されます。)	トナーカートリッジを正しく挿入してください。 P.56 「トナーカートリッジの交換」
	トナーカートリッジの接点が汚れている。	接点を柔らかい布で拭いてください。
	推奨品以外のトナーカートリッジを使用している。	推奨トナーカートリッジを使用してください。 P.56 「トナーカートリッジの交換」
コピーできます（サドルトレiful）	フィニッシャのサドルステッチトレイがいっぱいになった。	フィニッシャのサドルステッチトレイから用紙を取り除いてください。
コピーできます（サドル針確認）	サドルステッチユニットのステイプラの針がつまった。または、針シートが十分に送られなかった。	一番上の針シートを1枚取り除いてください。 P.54 「サドルステッチユニットのステイプラ」
コピーできます（サドル針無し）	サドルステッチユニットのステイプラの針が残り少なくなっている、または無くなった。	ホチキス機能を選択したのに、仕上げがホチキス留めされていない場合は、サドルステッチユニットの針ケースを交換してください。 P.69 「サドルステッチユニットのステイプラ」
コピーできます（ホチキス針確認）	フィニッシャのステイプラの針がつまった。または、針シートが十分に送られなかつた。	一番上の針シートを1枚取り除いてください。 P.52 「ステイプラの針づまりの解除」
コピーできます（ホチキス針無し）	フィニッシャのステイプラの針が残り少なくなっている、または無くなつた。	ホチキス機能を選択したのに、仕上げがホチキス留めされていない場合は、フィニッシャの針ケースを交換してください。 P.68 「ステイプラの針の補充」
コピーできます（パンチ屑フル）	ホールパンチユニットのパンチ屑ケースがいっぱいになつた。	パンチ屑を取り除いてください。 P.72 「パンチ屑ケースの清掃」

メッセージ	意味	対処のしかた
コピーできます（フィニッシャフル）	フィニッシャの排紙トレイがいっぱいになった。	フィニッシャの排紙トレイから用紙を取り除いてください。
コピーできます（本体トレイフル）	本機の排紙トレイがいっぱいになった。	本機の排紙トレイから用紙を取り除いてください。
コピーできません 部門カウンタを確認してください	原稿を読み込んでいる途中で、部門に設定されているコピー可能枚数の上限を超えた。	コピー可能枚数の設定について詳しくは、管理者にお問い合わせください。
コピー用紙を補給してください	カセット内または手差しトレイ上の用紙がなくなった。	用紙がなくなったカセットまたは手差しトレイをタッチパネル上で確認し、カセットまたは手差しトレイに用紙をセットしてください。 用紙のセットのしかたについては コピーガイド を参照してください。
サービスマンコール	サービスエンジニアによる調整が必要です。	サービスエンジニアまたは弊社販売店にご連絡ください。その際、画面右上に表示されるエラーコード（C***）を担当者にお知らせください。
⚠ 警告		分解・改造・修理はしないこと 感電・火災・けがの原因となります。 動作不良・故障時はサービスエンジニアまたは弊社販売店へご連絡ください。
サドルステッチのステイプラーをお確かめください	サドルステッチユニットのステイプラの針がつまつた。	つまつた針を取り除いてください。 P.54 「サドルステッチユニットのステイプラ」
サドルステッチユニットのステイプラーの針を補給してください	サドルステッチユニットのステイプラーの針が残り少なくなっている、または無くなつた。	ホチキス機能を選択したのに、仕上げがホチキス留めされていない場合は、サドルステッチユニットの針ケースを交換してください。 P.69 「サドルステッチユニットのステイプラ」
ステイプラーの針を補給してください	フィニッシャのステイプラの針が残り少なくなっている、または無くなつた。	ホチキス機能を選択したのに、仕上げがホチキス留めされていない場合は、フィニッシャの針ケースを交換してください。 P.68 「ステイプラの針の補充」
ステイプラーをお確かめください	フィニッシャのステイプラの針がつまつた。	つまつた針を取り除いてください。 P.52 「ステイプラの針づまりの解除」
節電しています 復帰するには [節電] ボタンを押してください	本機を一定時間使用していなかったので、低電力モードに入っている。	[節電] ボタンを押して低電力モードを解除してください。
正しいサイズのカセットをいれてください	原稿に合ったサイズの用紙がカセットに入っていない。	原稿に合ったサイズの用紙をカセットにセットしてください。
	原稿送り装置にセットした原稿が斜めに送られたため、原稿のサイズが正しく検知されなかつた。	原稿送り装置のサイドガイドを原稿の幅に合わせ、原稿をまっすぐセットしてください。
定期点検のためにサービスに連絡してください	サービスエンジニアによる点検・保守作業が必要です。	サービスエンジニアまたは弊社販売店にご連絡ください。

メッセージ	意味	対処のしかた
停電が発生しました	停電などが原因で、ジョブが中断した。	停電発生時に実行中だった印刷ジョブやファクスジョブが完了していない可能性があります。[状況確認] を押して、ジョブの状況を確認してください。[リセット] ボタンを2回押すと、このメッセージは消えます。
データ消去中	ジョブ終了後のデータを、データ消去オプションが消去している。	データ消去オプションを装着している場合に表示されます。メッセージが表示されている間も、本機を操作できます。
手差しの用紙サイズが間違っています 用紙の向きとサイズをご確認ください。	手差しトレイにセットした用紙のサイズと、機体に登録されている用紙サイズが一致していないため紙づまりが起こった。	紙づまりを解除しても、用紙サイズを登録し直すまで、続けて紙づまりが起こります。以下のページを参照して対処してください。 P.47 「用紙サイズの設定間違いによる紙づまりの解除」
手差しの用紙をいれ直してください	手差しトレイにセットした用紙がつまつた。	つまつた用紙を取り除き、用紙をセットし直してください。
手差し用紙の向きとサイズをご確認ください	手差しトレイにセットした用紙の向きまたはサイズが正しくない。	手差しトレイにセットしている用紙の向きとサイズを確認し、セットし直してください。
手差しトレイのサイドガイドの幅が用紙と合っていない。		サイドガイドの幅を用紙に合わせてください。
電源をいれ直してください	システム上のトラブルが発生した。	[電源] ボタンを押し、タッチパネル上の[再起動] を押してください。
トナーが少なくなっています (***)	トナーが少なくなった（カラー機の場合、「***」に対象の色が表示されます。）（複数の色のトナーが少なくなった場合は、色の名前が以下の略称で表示されます。 Y：黄、M：マゼンタ、C：シアン、K：黒）	このメッセージが表示されている間は、トナーカートリッジ内にトナーが残っています。この状態でトナーカートリッジを交換する必要はありません。トナーが少なくなった色を画面上で確認し、新しいトナーカートリッジを準備してください。（このメッセージが表示されてから、約2000枚印刷できます。印刷条件によっては、トナーがなくなるまでこのメッセージが表示されない場合があります。）

注意

- トナーカートリッジは、トナーが完全になくなつてから交換してください。トナーが完全になくなると、「*** トナーがなくなりました 新しいカートリッジと交換してください」というメッセージが表示されます。
- この状態でトナーカートリッジを交換したい場合は、「トナーが完全になくなる前にトナーカートリッジを交換するときの対処」（ P.60）の手順に沿って交換してください。
- 黒色以外のトナーが少なくなった状態でも、白黒での出力はできます。黒色のトナーがなくなると、カラー・白黒共に出力できません。

メッセージ	意味	対処のしかた
廃トナー ボックスの装着を確認し 廃トナー ボックスカバーを閉めてください	廃トナー ボックスがしっかりと装着されていない。または廃トナー ボックスカバーが閉まっていない。	廃トナー ボックスがしっかりと装着されていることを確認し、廃トナー ボックスカバーを閉めてください。 ■ P.64 「廃トナー ボックスの交換」
廃トナー ボックスを交換してください	廃トナー ボックスがいっぱいになった。	画面に表示されるガイダンスに従って、廃トナー ボックスを交換してください。 ■ P.64 「廃トナー ボックスの交換」
パンチ屑を捨ててください	ホールパンチユニットのパンチ屑ケースがいっぱいになった。	パンチ屑を取り除いてください。 ■ P.72 「パンチ屑ケースの清掃」
ファクス回線1（または2）は使用できません（故障）	ファクス回線1（または2）が故障している。	サービスエンジニアまたは弊社販売店にご連絡ください。
ファクス回線1（または2）は接続されていません	ファクス回線1（または2）が接続されていない。	サービスエンジニアまたは弊社販売店にご連絡ください。
ファクス回線のケーブルが接続されているか確認してください	装置にLINEケーブルが未接続、または接触不良の状態になっている。	LINEケーブルが正しく接続されているか確認してください。
	LINEケーブルが途中で切れている、またはモジュラーコンセントに正しく接続されていない。	LINEケーブルが正しく接続されているか確認してください。
	光回線などの場合、光ターミナル（光電話対応アダプター）のTEL（PHONE）ポートにLINEケーブルが正しく接続されていない。	LINEケーブルが正しく接続されているか確認してください。
	光回線などの場合、光ターミナルなどの動作不良によりダイヤルトーンが出ていない。	光ターミナルなどの再起動を行い、正常に動作しているかを確認してください。
	光回線などの場合、光ターミナルなどの電源が入っていないことによりダイヤルトーンが出ていない。	光ターミナルなどの電源が入っているか確認してください。
	オプションの回線増設ユニット装着時に回線2が未使用（LINEケーブルが未接続）の状態になっている。	回線2を受信専用に設定してください。
複製禁止の原稿を検出しました	コピーが禁止されている原稿をコピーしようとした。	この原稿はコピーできません。
部門割当がなくなりました。管理者にお問い合わせください。	部門に割り当てられている、コピー、印刷、スキャンなどの割当残数がなくなった。	割当の設定について詳しくは、管理者にお問い合わせください。
フィニッシャトレイの下に物を置いてある場合は取り除いてから、電源を入れ直してください。	フィニッシャトレイの下に物が置かれている。	フィニッシャトレイの下の物を取り除き、電源を入れ直してください。
メモリ容量が足りません 読み込んだ原稿を印刷しますか？	原稿を読み込んでいる途中で、内蔵メモリがいっぱいになった。	読み込んだところまでコピーするときは〔はい〕を、読み込んだ内容を取り消したいときは〔いいえ〕を押してください。

メッセージ	意味	対処のしかた
ユーザ割当がなくなりました。管理者にお問い合わせください。	ユーザに割り当てられている、コピー、印刷、スキャンなどの割当残数がなくなった。	割当の設定について詳しくは、管理者にお問い合わせください。
ユーザ割当と部門割当がなくなりました。管理者にお問い合わせください。	ユーザと部門に割り当てられている、コピー、印刷、スキャンなどの割当残数がなくなった。	割当の設定について詳しくは、管理者にお問い合わせください。
読み込み可能枚数を超えた スキャンされたデータは削除されます	原稿を読み込んでいる途中で、一度に読み込める原稿の枚数（1000枚）を超えた。 (マガジンソート機能やページ付加機能を使用している場合)	読み込む原稿の枚数を減らして、コピーし直してください。
読み込み可能枚数を超えた 読み込んだ原稿を印刷しますか？	原稿を読み込んでいる途中で、一度に読み込める原稿の枚数（1000枚）を超えた。	読み込んだところまでコピーするときは〔はい〕を、読み込んだ内容を取り消したいときは〔いいえ〕を押してください。
リソース不足のため印刷できません	大量のジョブがたまっている。	実行中、中断中の不要なジョブを削除し、再度実行してください。
HDDセルフテストを実行中です	複合機本体の内蔵ストレージの状態をチェックしている。	このメッセージが表示されている間は、操作パネルの操作やジョブの実行が遅くなる場合があります。
HDDの交換が必要です。サービスに連絡してください。	複合機本体の内蔵ストレージが不調のため交換する必要がある。	サービスエンジニアまたは弊社販売店にご連絡ください。
HDDのデータをバックアップしてください	複合機本体の内蔵ストレージは通常動作していますが、万一のトラブルに備えてデータの定期的なバックアップをお勧めします。	設定/登録メニューの管理者設定画面にある「データバックアップリストア」で、バックアップしてください。 詳しくは、 設定管理ガイド を参照してください。
LANケーブルが接続されているか確認してください	ネットワークケーブルの接続を確認できない。	ネットワークケーブルについて、以下の確認を行ってください。 <ul style="list-style-type: none"> 本機にネットワークケーブルが接続されているか ネットワークケーブルのコネクタが破損していないか ネットワークケーブルが断線していないか ネットワークケーブルがハブに接続されているか、コネクタが破損していないか ネットワークケーブルを接続したハブの電源が入っているか 本機とハブのEthernetの通信速度と通信方式の設定が合っているか

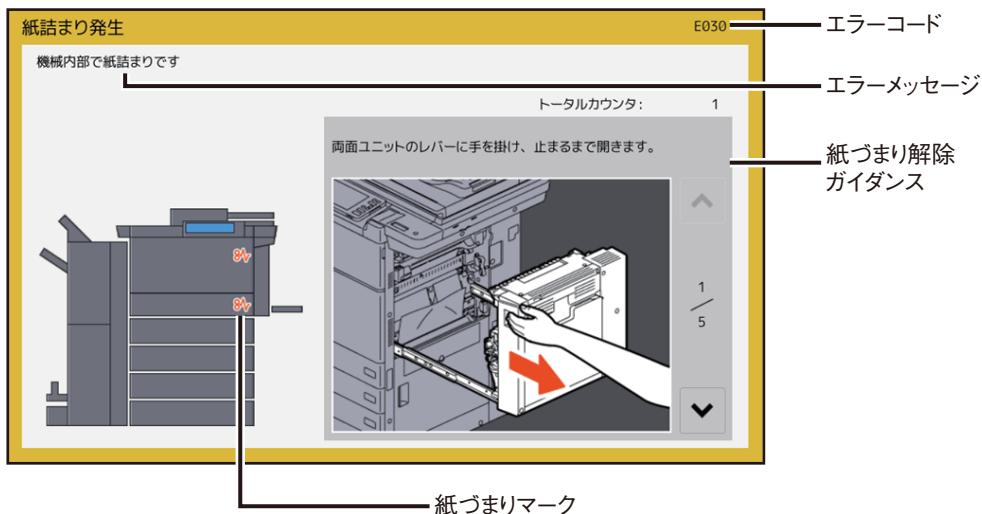
エラーコードについて

上記のエラーメッセージ以外にも、本機の状態を示すエラーコードがタッチパネルに表示されることがあります。詳しくは、[トラブルシューティングガイド【ソフトウェア編】](#)を参照してください。

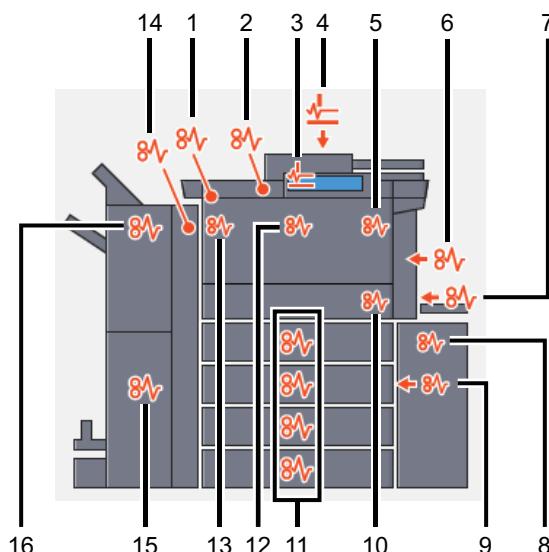
紙詰まりの解除

■ 紙がつまっている場所を画面で確認する

原稿や用紙がつまるとコピー動作が停止します。タッチパネルに以下のように表示されます。



紙詰まりマークの位置で、紙がつまっている場所が分かります。



1. 排紙トレイ下カバー (P.43)
2. 排紙トレイ (P.42)
3. 両面同時原稿送り装置下部 (P.21)
4. 両面同時原稿送り装置上部 (P.22)
5. 定着器 (P.29)
6. 両面ユニット (P.31)
7. 手差しトレイ (P.28)
8. 大容量給紙装置 (オプション) (P.24)
9. 力セット給紙部 (P.26)
10. 搬送部 (P.28)
11. 力セット (P.27)
12. 中継ユニット (P.45)

13. 横排紙トレイ (P.42)
14. ホールパンチユニット (オプション) (P.33)
15. サドルステッチ部 (オプション) (P.36)
16. フィニッシャ (オプション) (P.33)

表示される機体の絵は、装着しているオプションによって異なります。

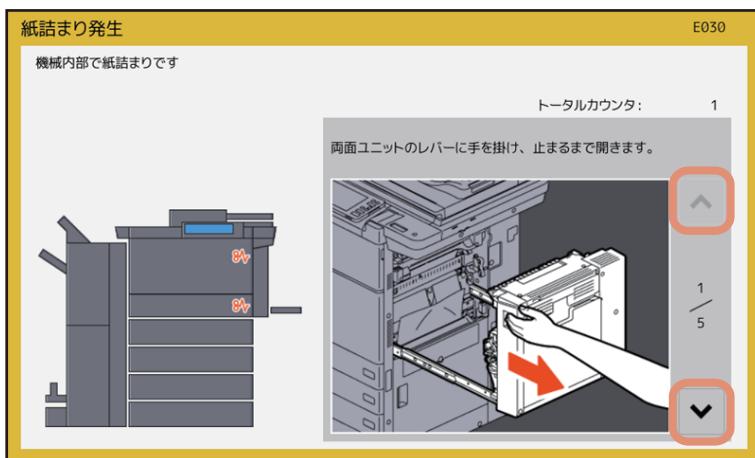
■ 紙詰まりを解除する

注意

中継ユニットの紙詰まりの解除は最後に行ってください。他の場所の紙詰まりを解除する前に中継ユニットを引き出すと、紙が破れて機体内部に残ることがあります。中継ユニットの紙詰まりの解除は、他の場所の紙詰まりを解除した後に行ってください。

1 紙詰まりを解除します。

画面に表示されるガイダンスに従って紙詰まりを解除してください。▲または▼を押してガイダンスを前後にたどることができます。



2 紙詰まりを解除したら、開いているカバーをすべて閉めます。

ウォームアップが始まります。画面の指示に従って操作してください。

□ 紙を取り除くときのご注意

つまった紙を取り除くときは以下の点に注意してください。

中継ユニットの紙詰まりの解除は最後に行ってください

機体内部に紙がつまっている状態で中継ユニットを引き出すと、紙が破れて機体内部に残ることがあります。中継ユニットの紙詰まりの解除は、他の場所の紙詰まりを解除した後に行ってください。

紙が破れないように注意してください

つまった紙が破れないように、両手でゆっくり取り除いてください。無理に取り除こうとすると、紙が破れて取り除きにくくなります。また、紙が破れたときは破れた紙を本機内に残さないでください。

つまっている紙を取り除いても紙詰まりマークが消えないときは

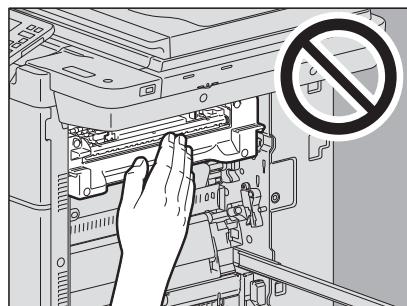
紙詰まりが発生したタイミングによっては、紙詰まりマークで表示された場所に紙がないこともあります。つまっている紙を取り除いても紙詰まりマークが消えない場合は、ガイダンスに従ってすべての操作を行ってください。

機器内部のコネクタおよびハーネスに触れないように注意してください 故障の原因となります。

定着器およびその付近の金属部に触れないように注意してください

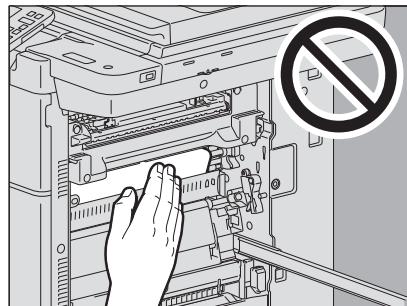
⚠ 注意

機体右側の内部でつまつた紙を取り除くときは、定着器およびその付近の金属部に触れないように注意してください。やけどや、触れたショックで手を機器内部に当ててけがをする原因となります。



転写ベルトに触れないように注意してください

機体右側の内部でつまつた用紙を取り除くときは、転写ベルトに触れないように注意してください。画像が汚れる原因となります。



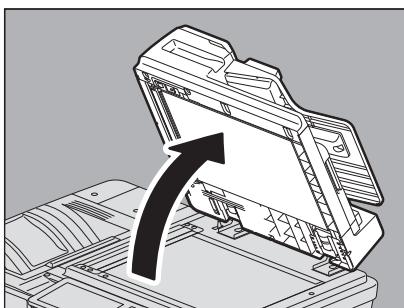
□ 紙づまりがひんぱんに起こるときは

紙づまりが起こる原因には、主に以下のものが考えられます。紙づまりがひんぱんに起こるときは、再度確認してください。

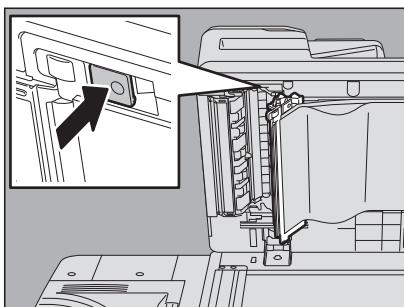
- ・原稿送り装置にセットできない原稿をセットしている。
- ・本機で使用できない用紙を使用している。
- ・カセットや手差しトレイにセットした用紙のサイズが、本機に正しく登録されていない。
- ・紙づまりが生じたときに、つまっているすべての紙を取り除いていない。
- ・給紙カセット内の用紙と、サイドガイドや後端ガイドとの間が空き過ぎている。
- ・給紙カセット内のサイドガイドの内側にある上限表示より多く用紙をセットしている。

■両面同時原稿送り装置下部

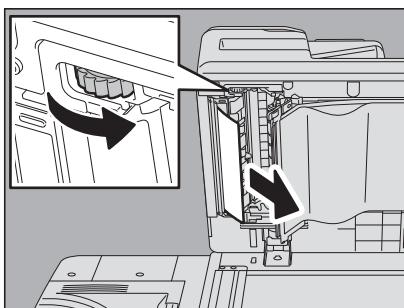
- 1 両面同時原稿送り装置の原稿を取り除き、両面同時原稿送り装置を開きます。



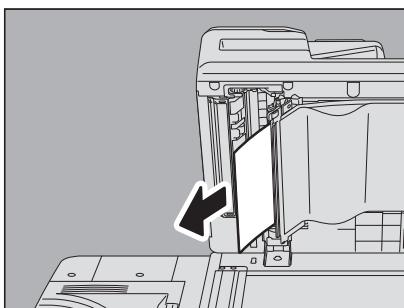
- 2 緑色のボタンを押して、下カバーを開けます。



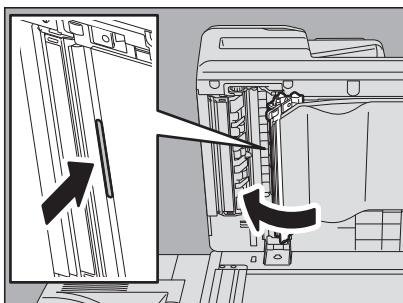
- 3 緑色のダイヤルを回して原稿を取り除きます。



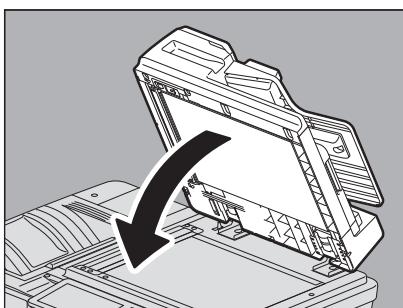
- 4 原稿を取り除きます。



5 緑色の部分を押して、下カバーを閉じます。

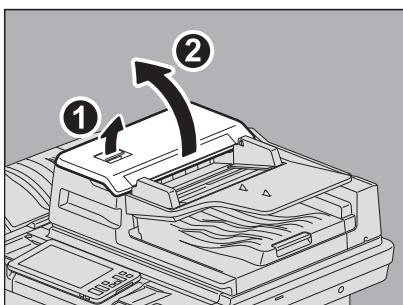


6 両面同時原稿送り装置を閉めます。

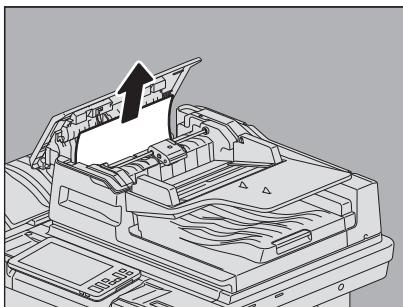


■ 両面同時原稿送り装置上部

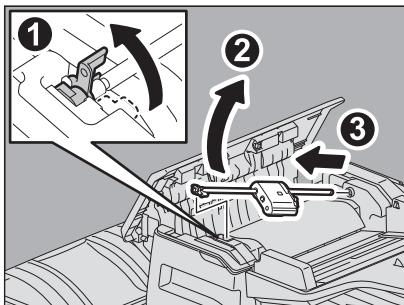
1 レバーを上げ、上カバーを開けます。



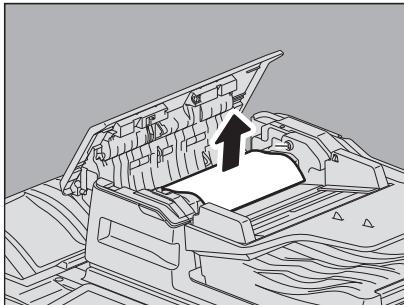
2 原稿を取り除きます。



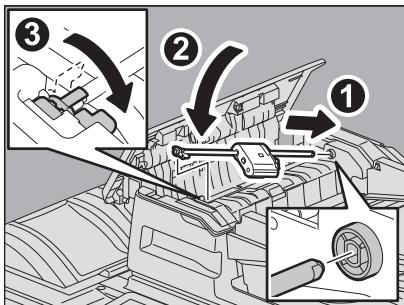
3 給紙ローラーユニットの下にある原稿を取り除きにくい場合は、給紙ローラーユニットを取り外します。



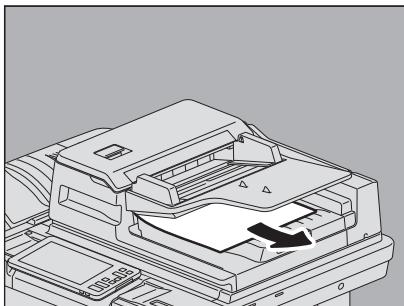
4 給紙ローラーユニットの下にある原稿を取り除きます。



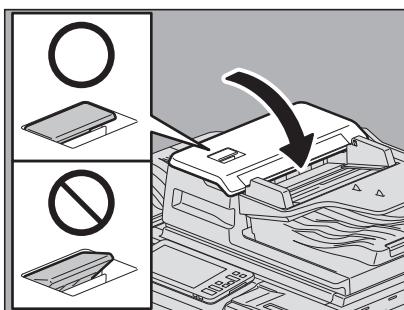
5 給紙ローラーユニットを取り付けます。



6 原稿給紙トレイの下にある原稿を取り除きます。



7 上カバーを閉めます。



注意

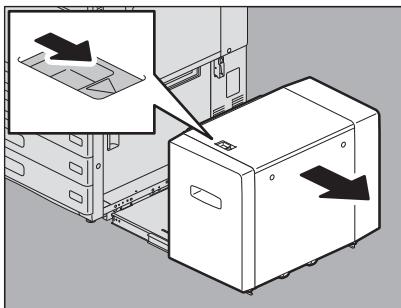
上カバーのレバーが確実に閉まっていることを確認してください。

■ 大容量給紙装置（オプション）

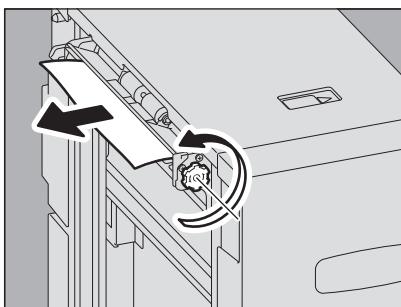
⚠ 注意

機体と自動両面ユニットカバーの間に指を挟み込まないように注意すること
けがの原因となります。

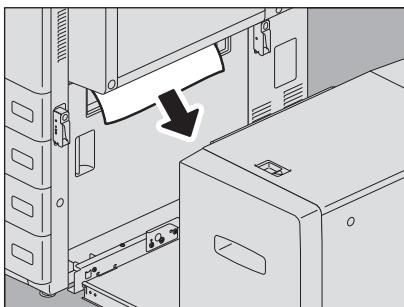
1 大容量給紙装置のレバーを操作し、本体から離します。



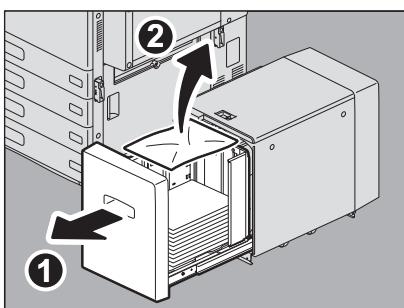
2 緑色のダイヤルを回して、つまっている用紙を取り除きます。



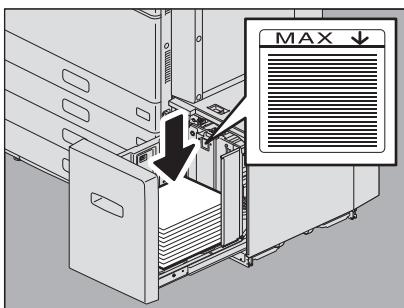
3 本体側につまっている用紙を取り除きます。



4 大容量カセットを引き出し、つまっている用紙を取り除きます。



5 用紙を入れ過ぎていないこと、折れ・曲がりが無いことを確認してから、大容量カセットを閉めます。

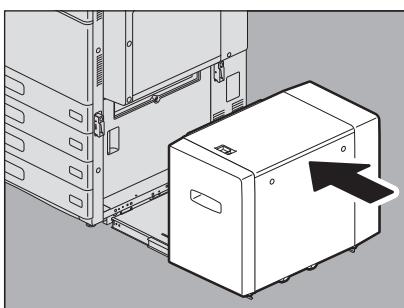


注意

用紙の量は、リア側のガイド板にある上限表示を超えないようにしてください。

6 大容量給紙装置を本体に接続します。

手を図の位置に置き、静かに動かしてください。

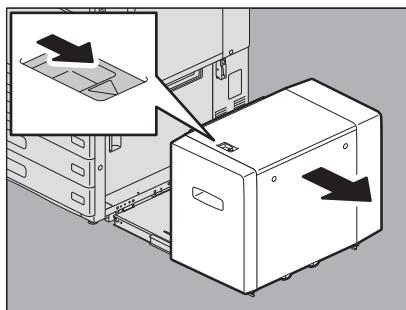


■ カセット給紙部

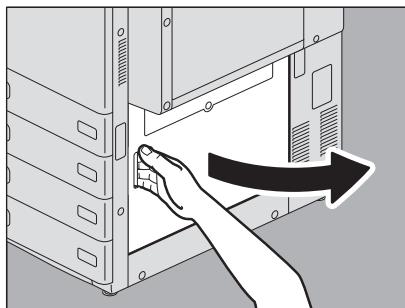
⚠ 注意

機体と自動両面ユニットカバーの間に指を挟み込まないように注意すること
けがの原因となります。

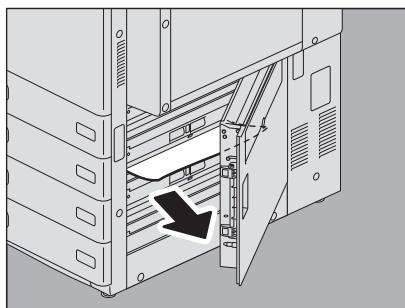
- 1 大容量給紙装置（オプション）を装着している場合は、大容量給紙装置のレバーを操作し、本体から離します。



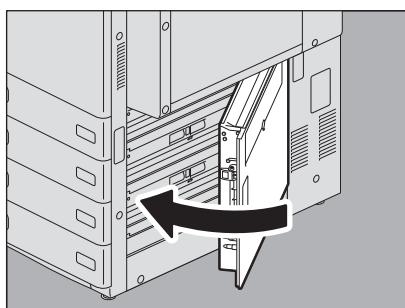
- 2 本体右側の給紙カバーを開きます。



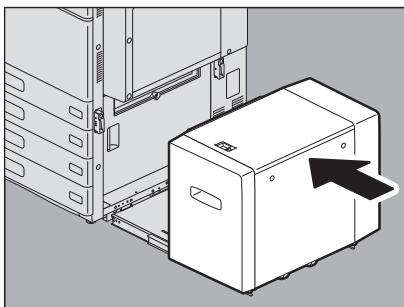
- 3 カセットから出ている用紙を取り除きます。



- 4 紙カバーを閉めます。

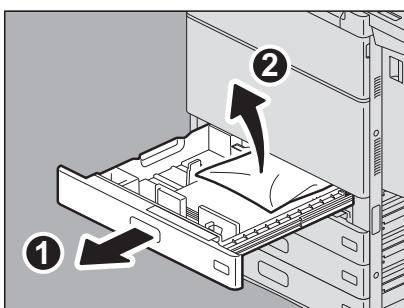


- 5 大容量給紙装置（オプション）を装着している場合は、本体に接続します。**
手を図の位置に置き、静かに動かしてください。

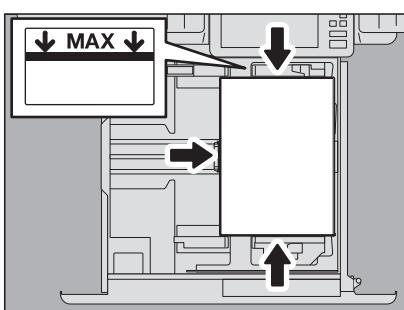


■ カセット

- 1 給紙したカセットを開けて、つまっている用紙を取り除きます。**



- 2 用紙を入れ過ぎていないこと、折れ・曲がりが無いこと、ガイド幅が適切なことを確認してから、カセットを閉めます。**

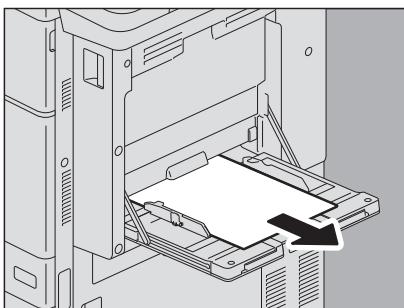


注意

用紙の量は、サイドガイドの内側にある上限表示を超えないようにしてください。

■ 手差しトレイ

- 1 手差しトレイ上の用紙をいったん引き抜いてから、セットし直します。
用紙に汚れ・折れ・破れなどがある場合は、新しい用紙と交換してください。



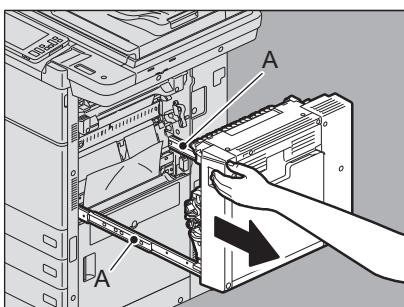
■ 機体右側面

⚠ 注意

定着器およびその付近の金属部には触れないこと
やけどや、触れたショックで手を機器内部に当て、けがの原因となります。

□ 搬送部

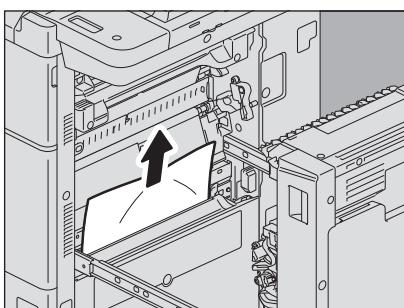
- 1 両面ユニットのレバーに手を掛け、止まるまで開きます。



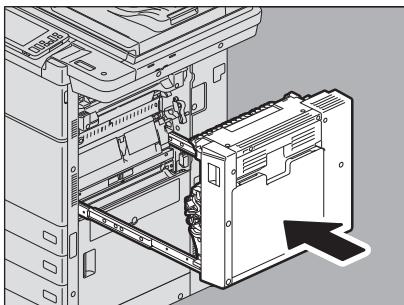
⚠ 注意

スライドレール（図中A）に触れないように注意すること
けがの原因となります。

- 2 つまっている用紙を取り除きます。



3 図の位置に手を添えて、両面ユニットを閉めます。

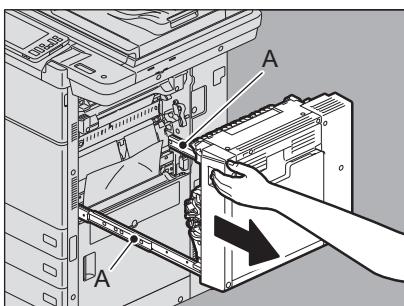


⚠ 注意

両面ユニットの上面に手や指を置いた状態で閉めないと
手や指を挟み、けがの原因となります。

□ 定着器

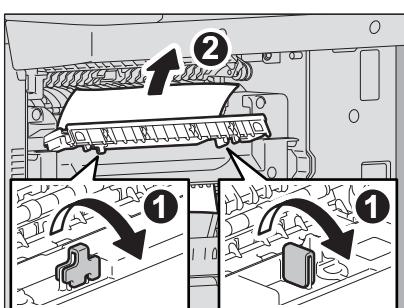
1 両面ユニットのレバーに手を掛け、止まるまで開きます。



⚠ 注意

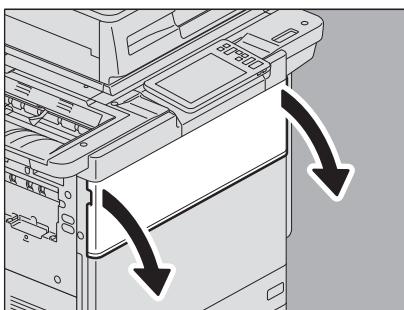
スライドレール（図中A）に触れないように注意すること
けがの原因となります。

2 緑色のツマミを持って搬送ガイドを開け、つまっている用紙を取り除きます。

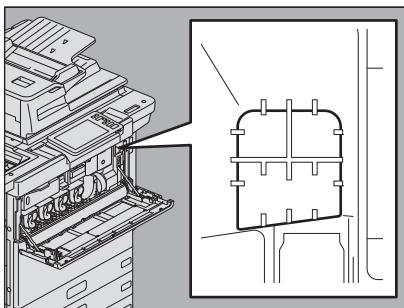


3 つまっている用紙が見えない場合は、定着器の奥の方に用紙がつまっていないか確認します。

1. 本体の前面カバーを開けます。

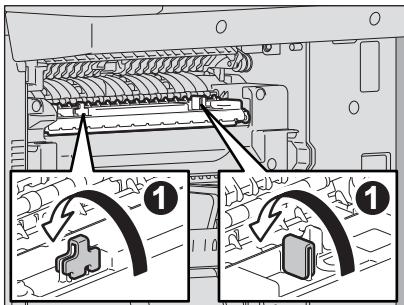


2. 紙づまり確認用の窓から覗き、定着器の奥の方に用紙がつまっていないか確認します。

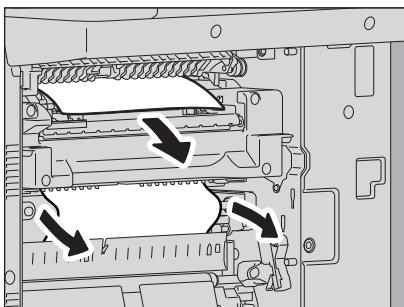


3. 前面カバーを閉めます。

4 緑色のツマミを持って、搬送ガイドを戻します。



5 定着器の上や下に用紙が残っていたら、用紙を取り除きます。



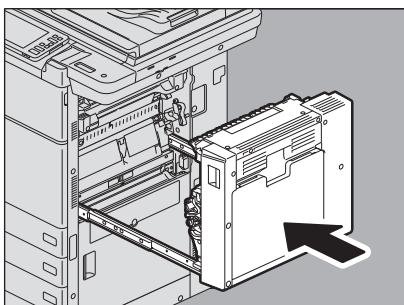
⚠ 注意

定着器の下にある用紙を取り除くときは、用紙の手前と奥に指を掛け、用紙で指を切らないように注意して引き出してください。

注意

転写ベルトに手を触れないように注意してください。機体の故障や、画像が汚れる原因となります。

6 図の位置に手を添えて、両面ユニットを閉めます。



⚠ 注意

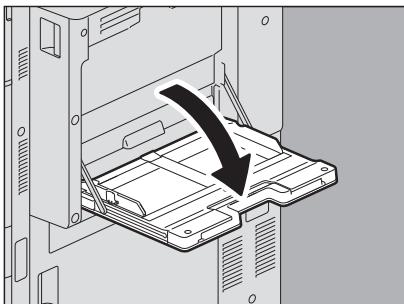
両面ユニットの上面に手や指を置いた状態で閉めないと
手や指を挟み、けがの原因となります。

■ 両面ユニット

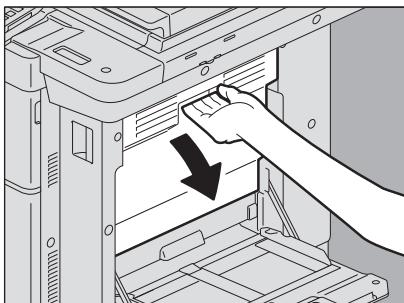
⚠ 注意

- 両面ユニットのガイド板の金属部には触れないこと
やけどの原因となります。
- 両面ユニットを本体に接続した状態で作業すること
両面ユニットを本体から離した状態で作業すると、故障やけがの原因となります。

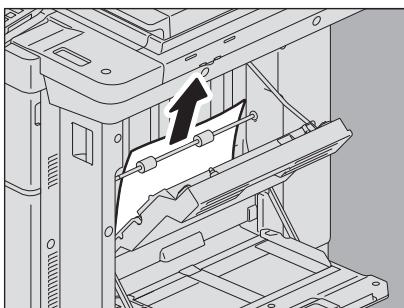
1 本体右側の手差しトレイを開けます。



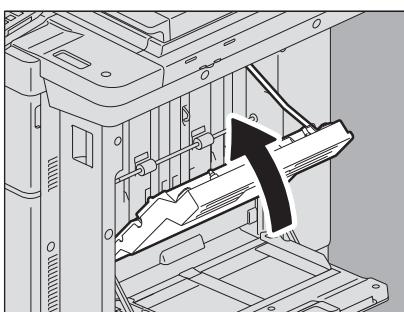
2 両面ユニットカバーを開けます。



3 つまっている用紙を取り除きます。



4 両面ユニットカバーを閉めます。



⚠ 注意

両面ユニットカバーの上面に手や指を置いた状態で閉めないこと
手や指を挟み、けがの原因となります。

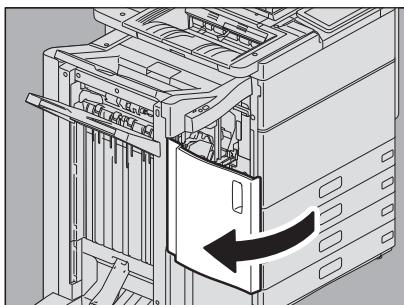
5 手差しトレイを閉めます。

■ フィニッシャおよびホールパンチユニット（共にオプション）

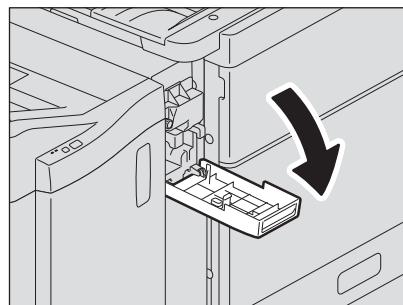
1 フィニッシャを本体から離します。

- ホールパンチユニットを装着していない場合は、フィニッシャの前面カバーを開けます。ホールパンチユニットを装着している場合は、ホールパンチユニットのカバーを開けます。

ホールパンチユニットを装着していない場合

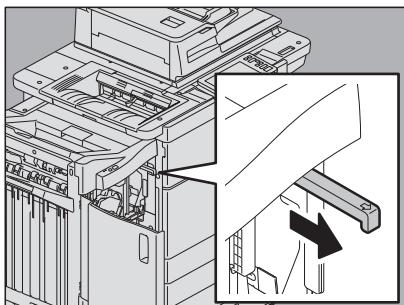


ホールパンチユニットを装着している場合

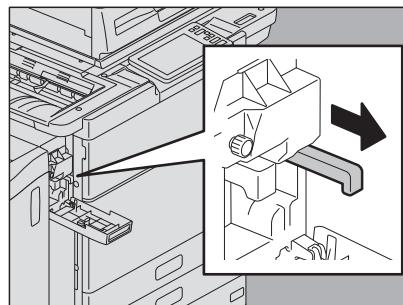


- レバーを引いてロックを外します。

ホールパンチユニットを装着していない場合

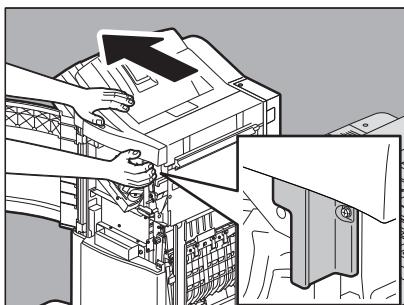


ホールパンチユニットを装着している場合

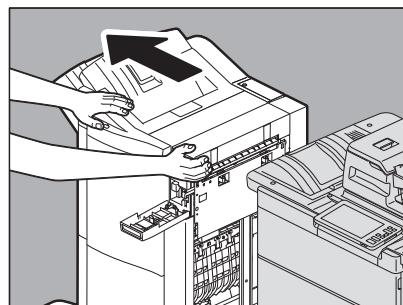


- 図の位置に手を添えて、フィニッシャを止まるまで静かに動かしてから、フィニッシャの前面カバーを開けます。

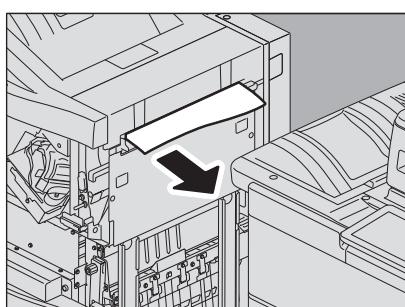
ホールパンチユニットを装着していない場合



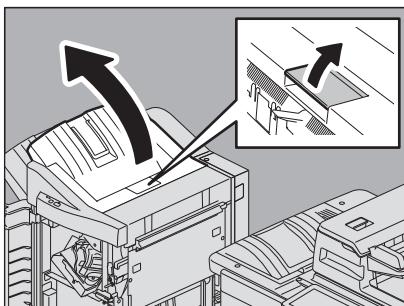
ホールパンチユニットを装着している場合



2 フィニッシャ入口のつまっている用紙を取り除きます。



3 取っ手を上げ、フィニッシャの上段排紙トレイを開けます。

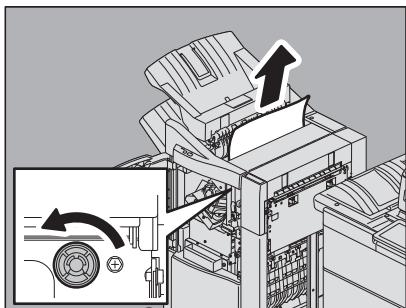


4 以下の図の位置にある緑色のつまみを回して用紙を送り、用紙を取り除きます。

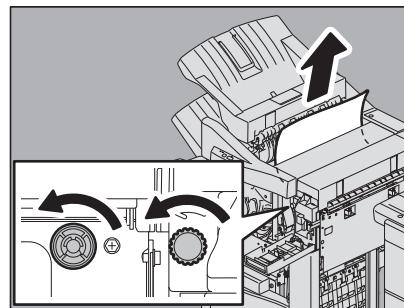
注意

ホールパンチユニットを装着している場合、フィニッシャの前面のカバーを開け、2つのつまみを同時に回します。

ホールパンチユニットを装着していない場合

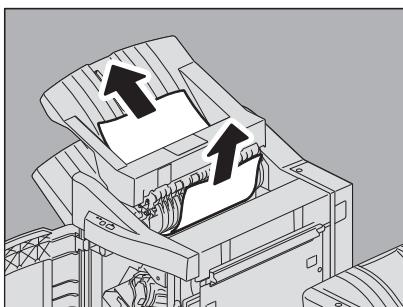


ホールパンチユニットを装着している場合

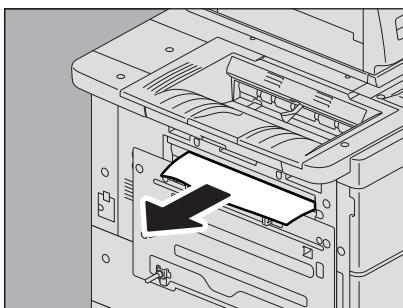


必ずツマミを矢印方向に回して用紙を送って取り除いてください。ツマミを回さずに無理に用紙を引っ張ると、用紙が破れことがあります。

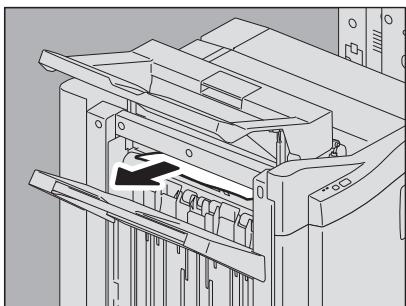
5 つまっている用紙を、右側または左側から取り除きます。



6 本体側につまっている用紙を取り除きます。

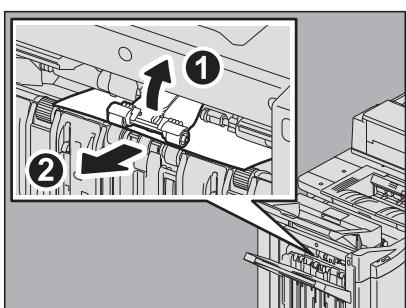


7 つまっている用紙を取り除きます。



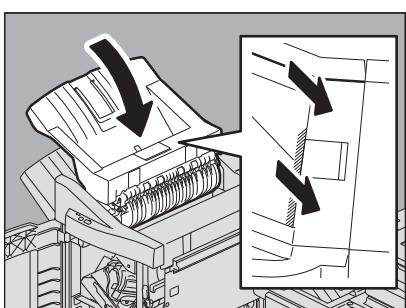
補足

用紙が排紙部のローラーに引っかかっているときは、ローラーを指で持ち上げて、つまっている用紙を取り除いてください。



8 フィニッシャの上段排紙トレイを閉めます。

取っ手の手前と奥に手を置き、カチッと音がするまで両手でしっかり押し込んでください。

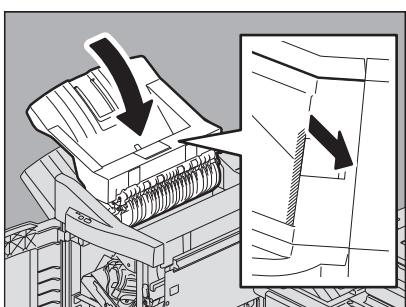


⚠ 注意

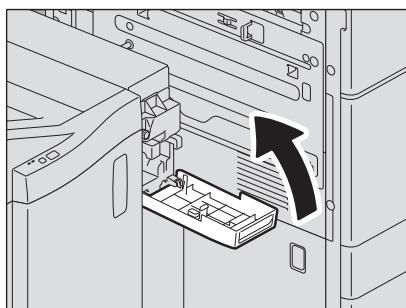
フィニッシャ本体と上段排紙トレイの間に手を挟まないように注意すること
けがの原因となります。

補足

取っ手の右側を片手で押して閉めることもできます。



9 ホールパンチユニットを装着している場合は、ホールパンチユニットのカバーを閉めます。



10 フィニッシャの前面カバーを閉めてから、フィニッシャを本体に接続します。



注意

手を図の位置に置き、静かに移動させてください。

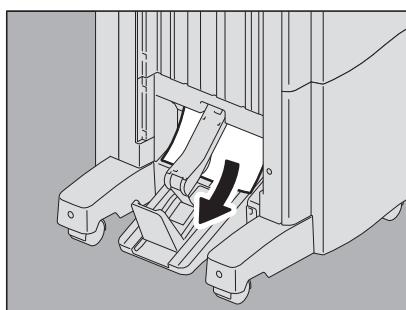
⚠ 注意

フィニッシャと本体の間に手を挟まないように注意すること
けがの原因となります。

■ サドルステッチ部（オプション）

サドルステッチ部は、サドルステッチフィニッシャ MJ-1112の内部にあります。

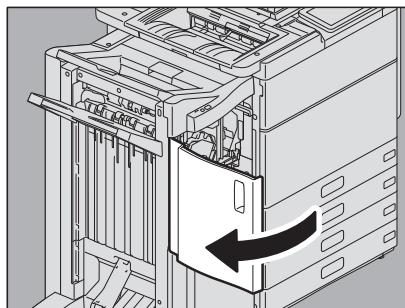
1 サドルステッチ部の排紙側につまっている用紙を取り除きます。



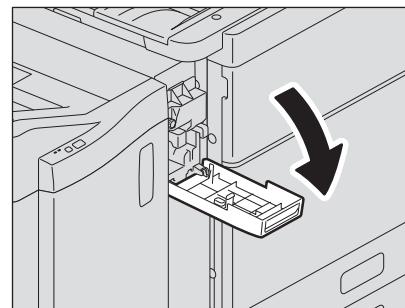
2 フィニッシャを本体から離します。

1. ホールパンチユニットを装着していない場合は、フィニッシャの前面カバーを開けます。ホールパンチユニットを装着している場合は、ホールパンチユニットのカバーを開けます。

ホールパンチユニットを装着していない場合

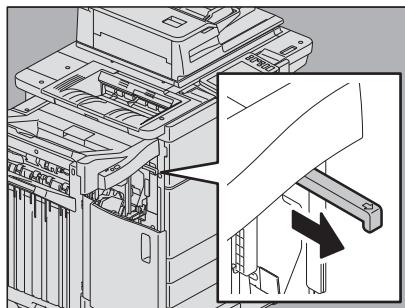


ホールパンチユニットを装着している場合

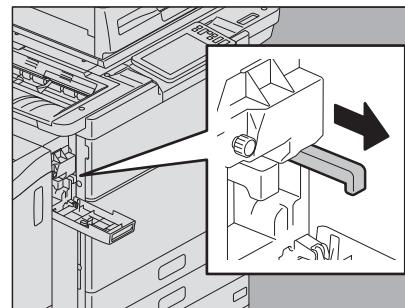


2. レバーを引いてロックを外します。

ホールパンチユニットを装着していない場合

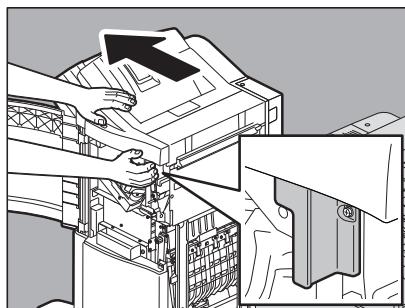


ホールパンチユニットを装着している場合

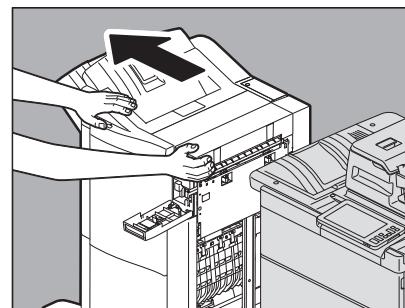


3. 図の位置に手を添えて、フィニッシャを止まるまで静かに動かしてから、フィニッシャの前面カバーを開けます。

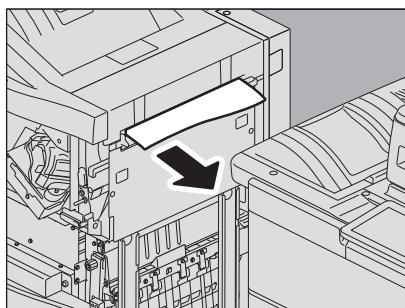
ホールパンチユニットを装着していない場合



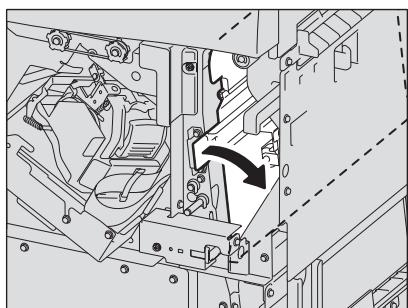
ホールパンチユニットを装着している場合



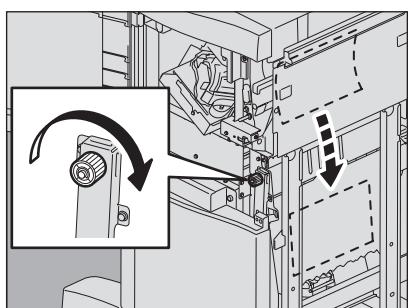
3 フィニッシャ入口のつまっている用紙を取り除きます。



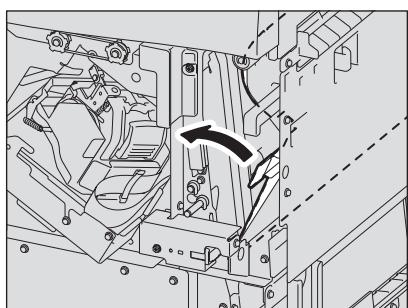
4 緑色の取っ手のガイドを右に寄せます。



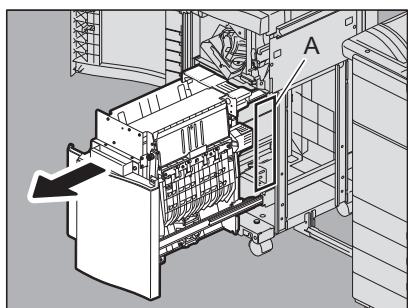
5 緑色のツマミを回して、用紙が見えなくなるまで下方向に移動させます。



6 緑色の取っ手のガイドを左に戻します。



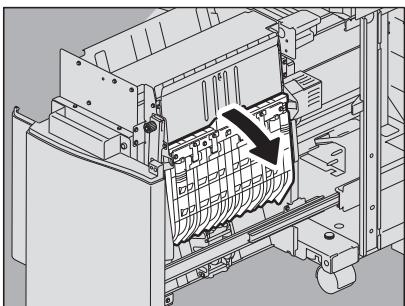
7 サドルステッチユニットを止まるまで引き出します。



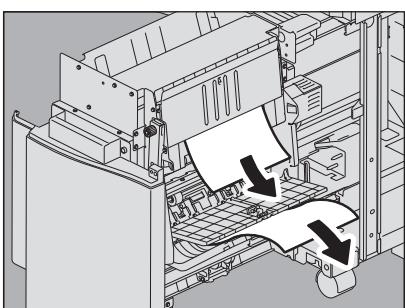
⚠ 注意

サドルステッチユニットの奥の開口部（A）に手を入れないこと
手を挟み、けがの原因となります。

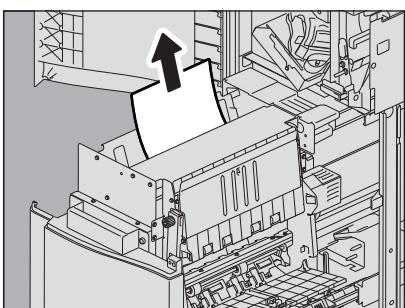
8 右側の搬送ガイドを開けます。



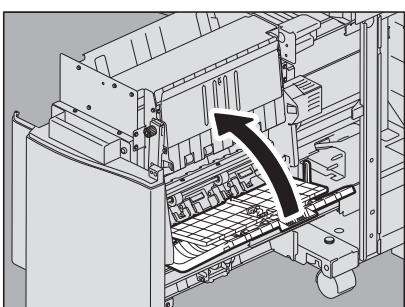
9 用紙を取り除きます。



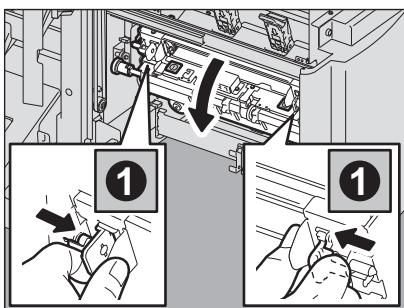
10 サドルステッチユニット内部にある用紙を取り除きます。



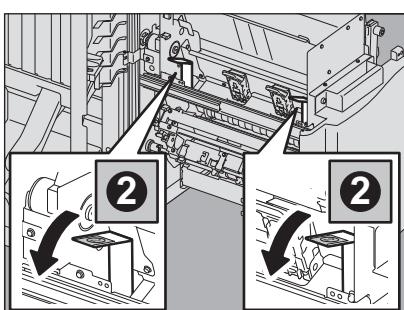
11 搬送ガイドを閉めます。



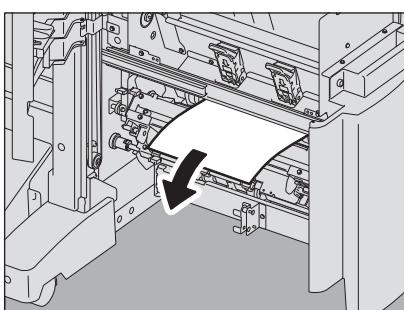
12 緑色のツマミを両手でつまみながら、サドルステッチユニットの左側の搬送ガイドを開けます。



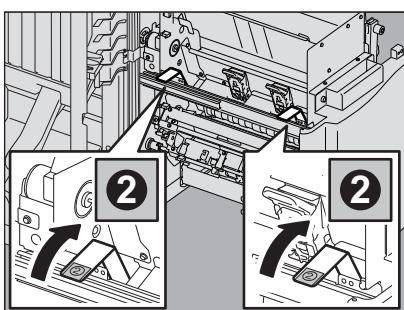
13 緑色のレバー（2か所）を押し下げます。



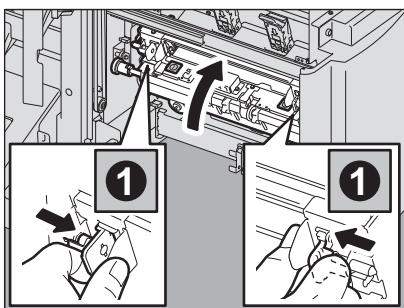
14 用紙を取り除きます。



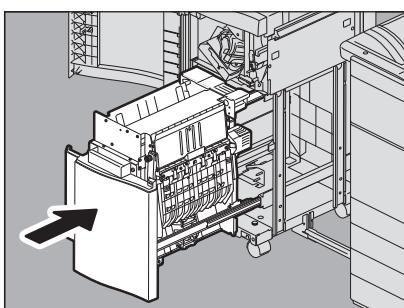
15 緑色のレバー（2か所）を押し上げます。



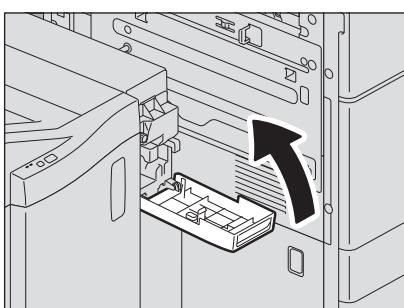
16 緑色のツマミを両手でつまみながら、サドルステッチユニットの左側の搬送ガイドを閉めます。



17 サドルステッチユニットを元に戻します。



18 ホールパンチユニットを装着している場合は、ホールパンチユニットのカバーを閉めます。



19 フィニッシャの前面カバーを閉めてから、フィニッシャを本体に接続します。



注意

手を図の位置に置き、静かに移動させてください。

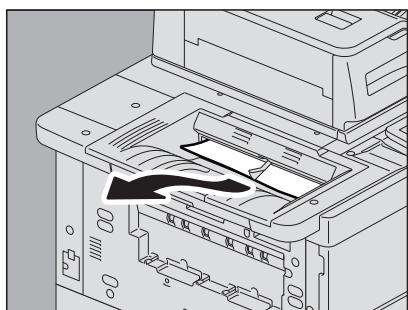
⚠ 注意

フィニッシャと本体の間に手を挟まないように注意すること
けがの原因となります。

■ 排紙部

□ 排紙トレイ

1 排紙トレイから用紙を取り除きます。

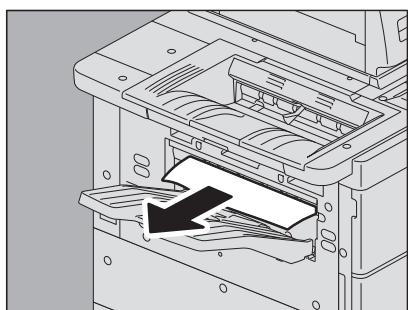


2 中継ユニットの紙づまりを解除してください。

□ P.45 「中継ユニット」

□ 横排紙トレイ

1 横排紙トレイから用紙を取り除きます。



2 中継ユニットの紙づまりを解除してください。

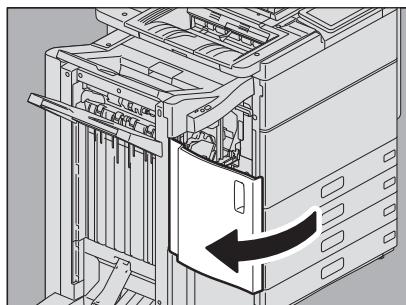
□ P.45 「中継ユニット」

□ 排紙トレイ下カバー

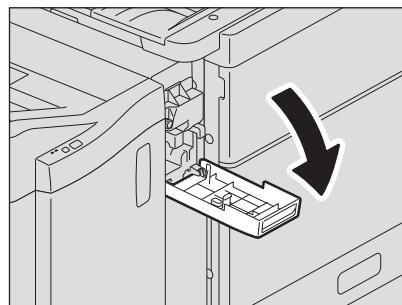
1 フィニッシャを装着している場合は、フィニッシャを本体から離します。

- ホールパンチユニットを装着していない場合は、フィニッシャの前面カバーを開けます。ホールパンチユニットを装着している場合は、ホールパンチユニットのカバーを開けます。

ホールパンチユニットを装着していない場合

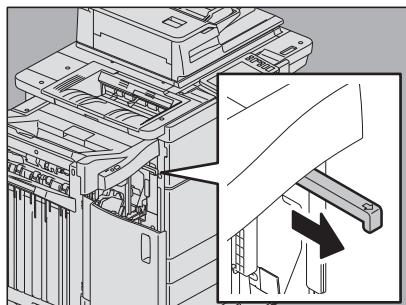


ホールパンチユニットを装着している場合

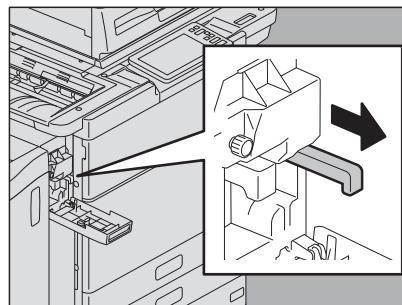


- レバーを引いてロックを外します。

ホールパンチユニットを装着していない場合

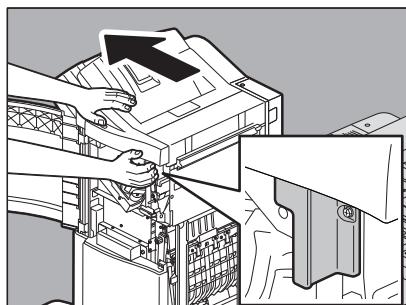


ホールパンチユニットを装着している場合

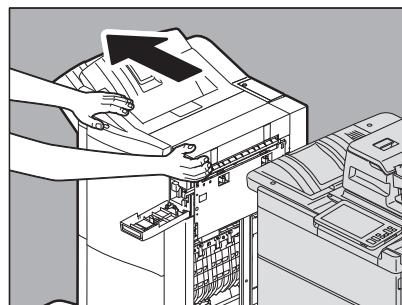


- 図の位置に手を添えて、フィニッシャを止まるまで静かに動かしてから、フィニッシャの前面カバーを開けます。

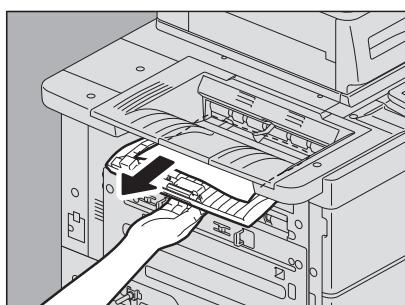
ホールパンチユニットを装着していない場合



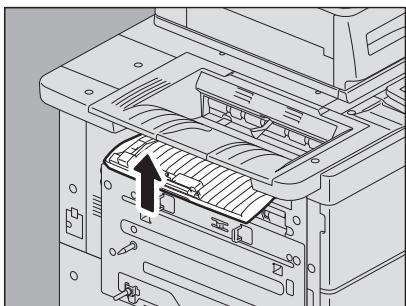
ホールパンチユニットを装着している場合



2 排紙トレイの下の取っ手を操作してカバーを開き、残っている用紙を取り除きます。



3 排紙トレイ下カバーを閉めます。



4 フィニッシャやホールパンチユニットを装着している場合は、フィニッシャの前面カバーおよびホールパンチユニットのカバーを閉めてから、フィニッシャを本体に接続します。



注 意

手を図の位置に置き、静かに移動させてください。

⚠ 注意

フィニッシャと本体の間に手を挟まないように注意すること
けがの原因となります。

■ 中継ユニット

⚠ 注意

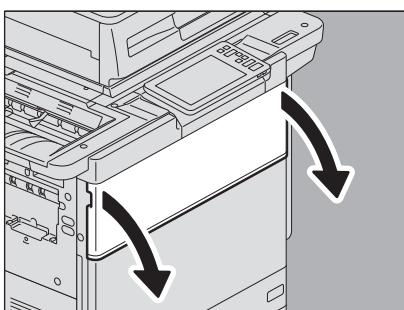
中継ユニットの金属部やモーターには触れないこと
やけどや、触れたショックで手を機器内部に当て、けがの原因となります。

注意

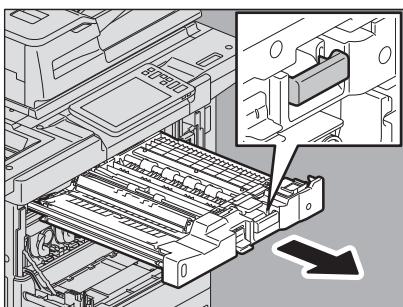
中継ユニットの紙づまりの解除は最後に行ってください。

機体内部に紙がつまつた状態で中継ユニットを引き出すと、紙が破れて機体内部に残ることがあります。中継ユニットの紙づまりの解除は、他の場所の紙づまりを解除した後に行ってください。

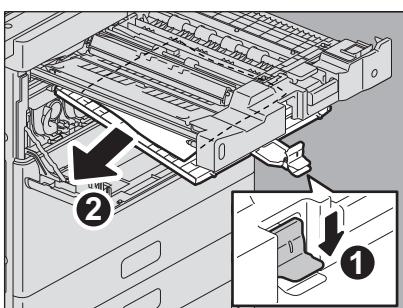
1 本体の前面カバーを開けます。



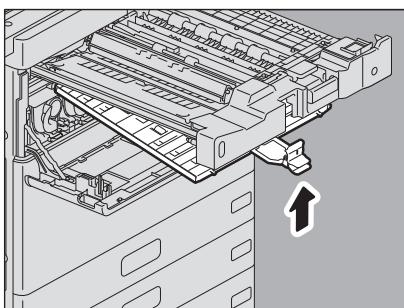
2 緑色のレバーに手をかけて、中継ユニットを止まるまで引き出します。



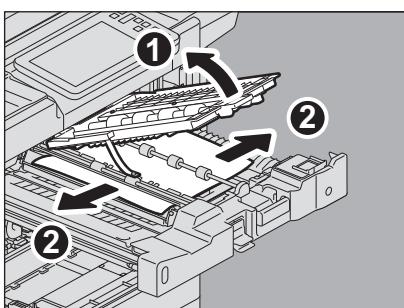
3 緑色のレバーをつまみながら下面カバーを開け、下面にある用紙を取り除きます。



4 下面カバーを閉めます。

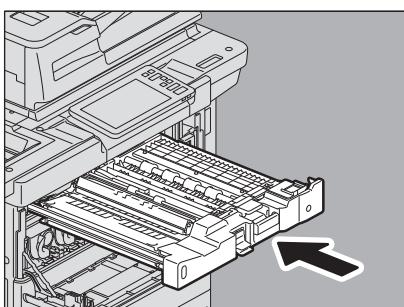


5 緑色の部分を持って上面カバーを開け、用紙を取り除きます。



6 上面カバーを閉めます。

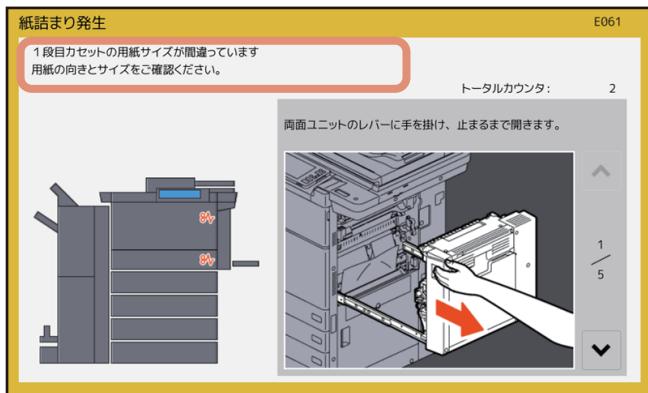
7 中継ユニットを本体内部に戻します。



8 本体の前面カバーを閉めます。

■ 用紙サイズの設定間違いによる紙づまりの解除

カセットや手差しトレイに入っている用紙のサイズと機体に登録されている用紙サイズが一致していないと紙づまりが起こります。画面上には「*段目カセットの用紙サイズが間違っています 用紙の向きとサイズをご確認ください。」または「手差しの用紙サイズが間違っています 用紙の向きとサイズをご確認ください。」というメッセージが表示されます。



この場合、つまっている用紙を取り除くだけでは再び紙づまりが発生します。必ず下記の手順に従って対処してください。

紙づまりがコピー中およびプリンタ出力中に発生したか、ファックス出力中に発生したかによって対処方法が異なります。

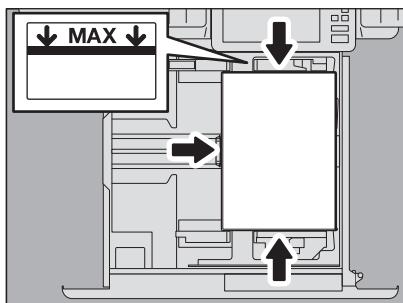
- P.47 「コピー中またはプリンタ出力中に発生した場合（カセット使用時）」
- P.50 「コピー中またはプリンタ出力中に発生した場合（手差しトレイ使用時）」
- P.50 「ファックス出力中に発生した場合」

□ コピー中またはプリンタ出力中に発生した場合（カセット使用時）

- 1 画面に表示されるガイダンスに従って紙づまりを解除します。
- 2 給紙したカセットを開け、用紙を入れ過ぎていないこと、折れ・曲がりが無いこと、ガイド幅が適切なことを確認します。

注意

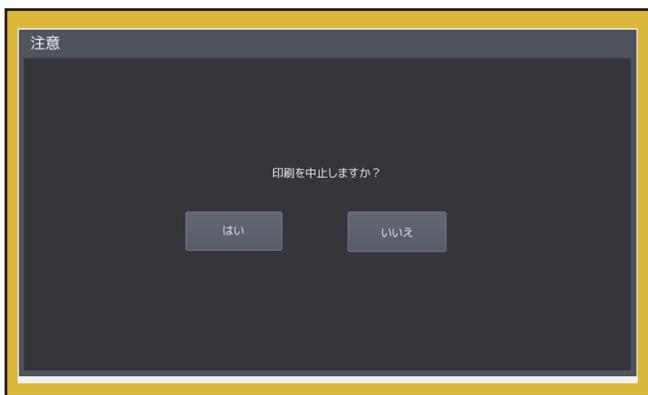
用紙の量は、カセットの内側にある上限表示を超えないようにしてください。



- 3 開いているカセットやカバーをすべて閉めます。

4 「印刷を中止しますか？」と表示されたら、【はい】を押します。

印刷ジョブが中止されます。



印刷ジョブを中止したくない場合は

紙づまりを解除してから、カセット内の用紙を機体に設定されている用紙サイズに合ったものと交換してください。その後、手順4で【いいえ】を押すと、印刷ジョブを中止せずに再開できます。この場合、手順5以降は不要です。

5 タッチパネルの【設定登録-ユーザ-】を押して設定/登録メニューに入ります。

6 【ユーザ設定】タブを押してユーザ設定メニューに入り、【カセット】を押します。



7 メッセージで指定されたカセットボタンを押します。



8 用紙サイズを設定し直し、[OK] を押します。



補足

用紙サイズの設定方法については、**用紙準備ガイド第1章「セットした用紙を設定する」**を参照してください。

9 [ホーム] ボタンを押して基本画面に戻り、[コピー] ボタンを押してコピー画面に入ります。

10 手順8で【自動 (mm)】または【自動 (inch)】を選んだ場合は、セットした用紙のサイズが正しく検知されていることを確認します。

本機が検知した用紙サイズは、画面左側に表示される機体表示部のカセットボタン上で確認できます。



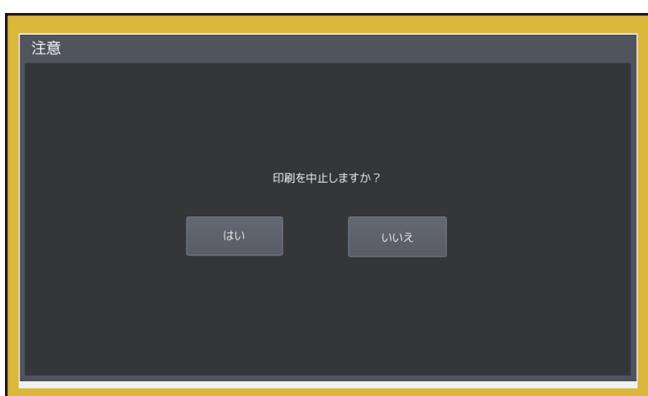
セットした用紙のサイズとは異なるサイズが表示されている場合や「△---」と表示されている場合は、用紙サイズが正しく検知されていません。この場合は以下のページを参照してください。

P.8 「こんな画面が表示されたら」

11 コピーやプリントをやり直します。

□ コピー中またはプリンタ出力中に発生した場合（手差しトレイ使用時）

- 1 画面に表示されるガイダンスに従って紙づまりを解除してから、開いているカバーをすべて閉めます。
- 2 「印刷を中止しますか？」と表示されたら、[はい] を押します。
印刷ジョブが中止されます。



印刷ジョブを中止したくない場合は

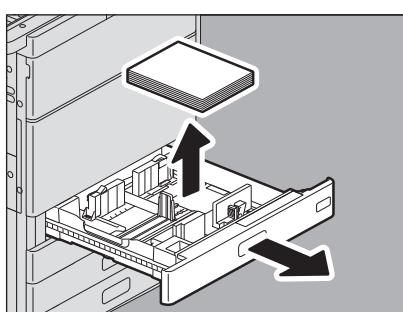
紙づまりを解除してから、手差しトレイ上の用紙を機体に設定されている用紙サイズに合ったものと交換してください。その後、手順2で [いいえ] を押すと、印刷ジョブを中止せずに再開できます。この場合、手順3以降は不要です。

- 3 手差しトレイに用紙をセットし、用紙サイズを設定し直します。

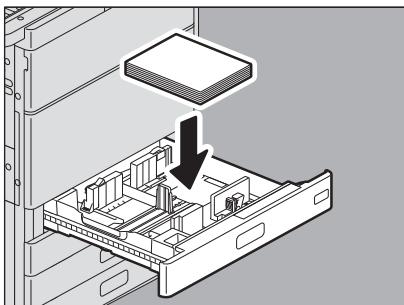
- 4 コピーやプリントをやり直します。

□ ファクス出力中に発生した場合

- 1 紙づまりが発生したカセットを引き出し、用紙をすべて取り出します。
用紙サイズを [自動 (mm)] または [自動 (inch)] に設定していてこの紙づまりが発生する場合は、カセットに入っている用紙のサイズが正しく検知されていないことが原因です。その場合は用紙を取り出さずに、手順3に進んでください。



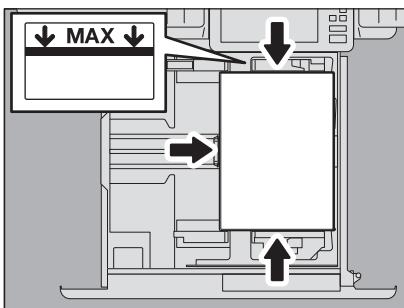
- 2 設定されている用紙サイズに合った用紙をカセットに入れます。**



- 3 用紙を入れ過ぎていないこと、折れ・曲がりが無いこと、ガイド幅が適切なことを確認します。**

注意

用紙の量は、カセットの内側にある上限表示を超えないようにしてください。



- 4 画面に表示されるガイダンスに従って紙づまりを解除してから、開いているカセットやカバーをすべて閉めます。**

印刷が再開されます。

ステイプラの針づまりの解除

フィニッシャおよびサドルステッチュニットのステイプラの針がつまったときは、以下の手順に従って針づまりを解除してください。

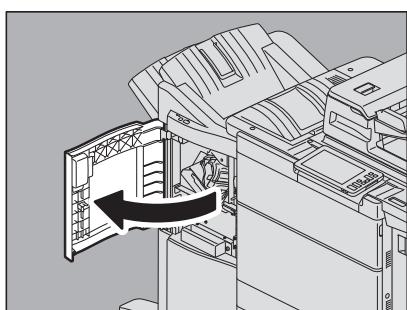
- P.52 「フィニッシャのステイプラ」
- P.54 「サドルステッチュニットのステイプラ」

注 意

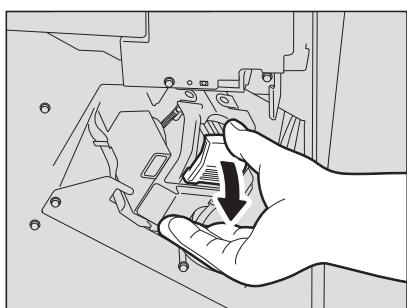
機器内部のコネクタに触れないように注意してください。故障の原因となります。

■ フィニッシャのステイプラ

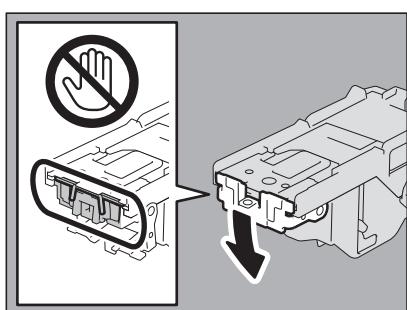
- 1 フィニッシャの前面カバーを開けます。



- 2 ステイプルカートリッジを取り外します。



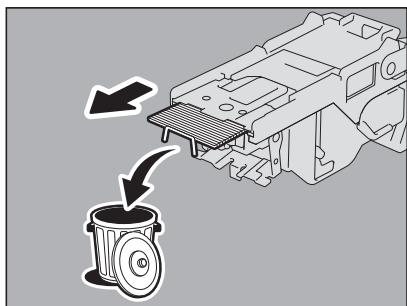
- 3 ツマミを持って、ガイドを下げます。



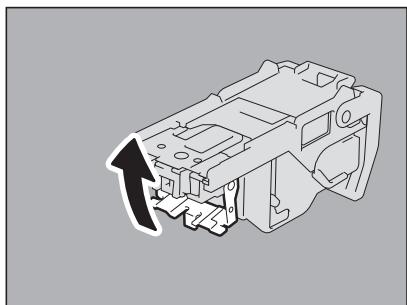
⚠ 注意

針打ち部には触れないこと
針先による、けがの原因となります。

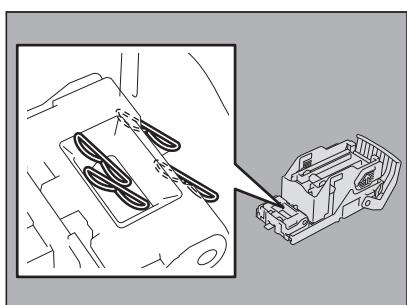
4 一番上の針シートを1枚、取り除きます。



5 ツマミを持ってガイドを上げ、元に戻します。



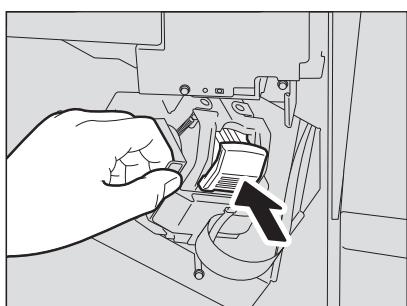
6 ステイプルカートリッジと針ケースの間や、針受け部に針が落ちている場合は、針を取り除きます。



7 ステイプルカートリッジをステイプラに取り付けます。

カートリッジを取り付けるときは、ブラケットの緑色のラベル部分を片手でしっかりとつかんでブラケットを固定してください。

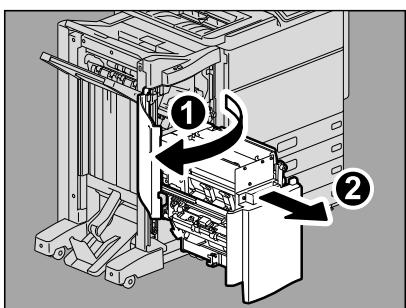
ステイプルカートリッジにツメが掛かり、カチッと音がして固定されるまで入れてください。



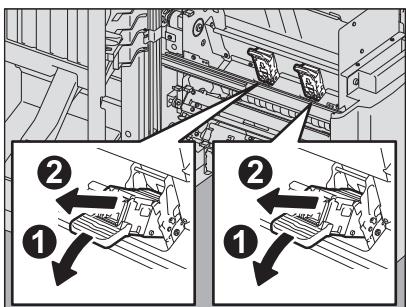
8 フィニッシャの前面カバーを閉めます。

■ サドルステッチュニットのステイプラ

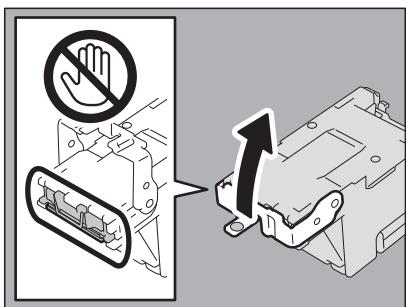
1 フィニッシャの前面カバーを開け、サドルステッチュニットを止まるまで引き出します。



2 ステイブルカートリッジを取り外します。



3 ツマミを持って、ガイドを上げます。

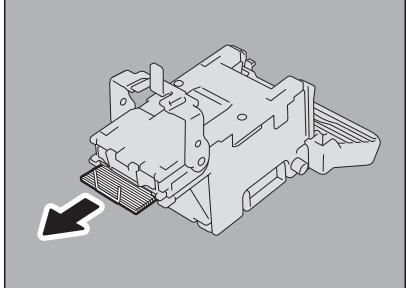


注意

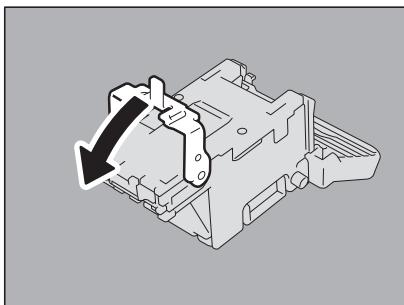
針打ち部には触れないこと

針先による、けがの原因となります。

4 一番上の針シートを1枚、取り除きます。

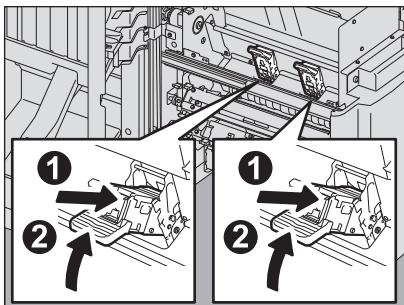


5 ツマミを持ってガイドを下げる、元に戻します。

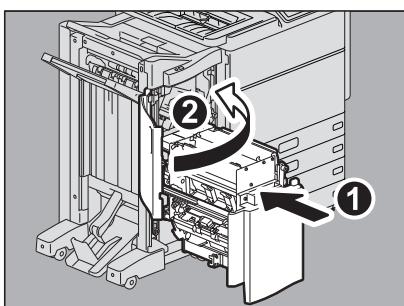


6 ステイプルカートリッジを取り付けます。

ステイプルカートリッジにツメが掛かり、カチッと音がして固定されるまで入れてください。



7 サドルステッチャユニットを元に戻し、フィニッシャの前面カバーを閉めます。



トナーカートリッジの交換

トナーカートリッジ内のトナーがなくなると、画面に「＊＊＊トナーがなくなりました 新しいカートリッジと交換してください」というメッセージが表示されます。（カラー機の場合、「＊＊＊」に対象の色が表示されます。）このメッセージが表示されたときは、以下の手順に従ってトナーカートリッジを交換してください。

画面に表示されるガイダンスに従ってトナーカートリッジを交換してください。□または☑を押してガイダンスを前後にたどることができます。



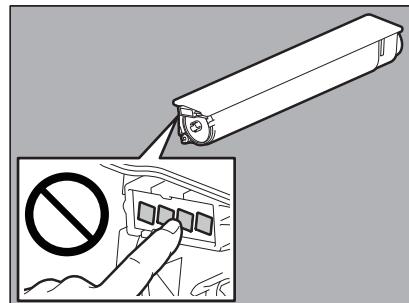
⚠ 警告

トナーカートリッジを火の中に入れないこと

火の中に入れると爆発・破裂の原因となります。また、使用済みのトナーカートリッジは廃棄しないでください。弊社販売店のサービスエンジニアが回収します。

トナーカートリッジの接点に触れないでください。

本機がトナーカートリッジを認識しなかったり、接点が破損したりする恐れがあります。

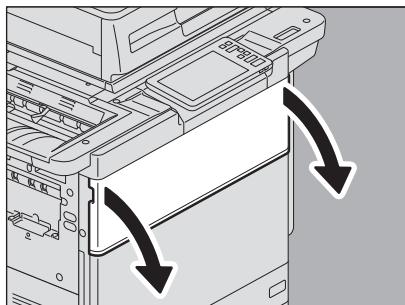


補足

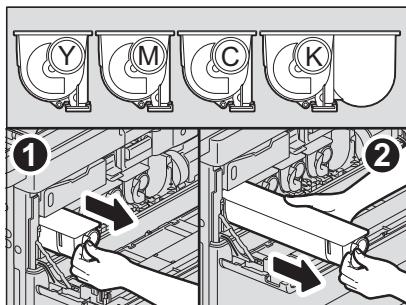
「トナーが少なくなっています」というメッセージが表示されている間は、まだトナーカートリッジ内にトナーが残っています。この状態でトナーカートリッジを交換する必要はありませんが、もし交換したい場合は「トナーが完全になくなる前にトナーカートリッジを交換するときの対処」(P.60) の手順に沿って交換してください。

■ カラー機

1 本体の前面カバーを開けます。



- 2** 交換する色のトナーカートリッジの左側のくぼみに手をかけて、下から手で支えながらゆっくり引き抜きます。

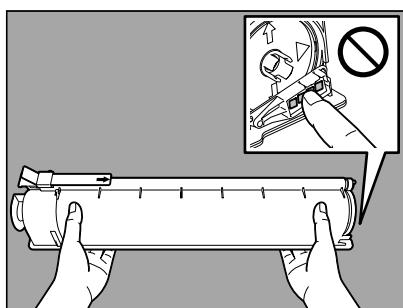


! 警告

トナーカートリッジを火の中に入れないこと

火の中に入れると爆発・破裂の原因となります。また、使用済みのトナーカートリッジは、廃棄しないでください。弊社販売店のサービスエンジニアが回収します。

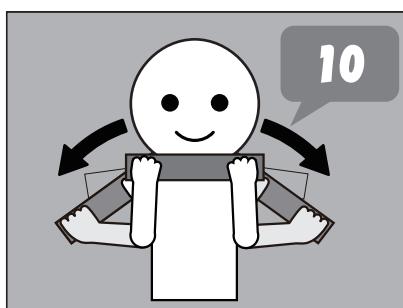
- 3** 新しいトナーカートリッジを、シールを上にして持ちます。



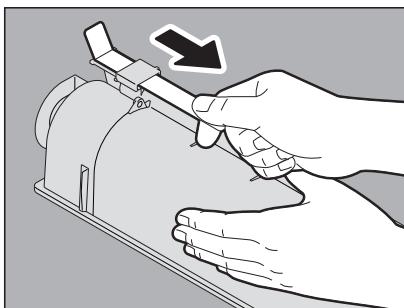
注意

基板上の金属接点に触れないでください。

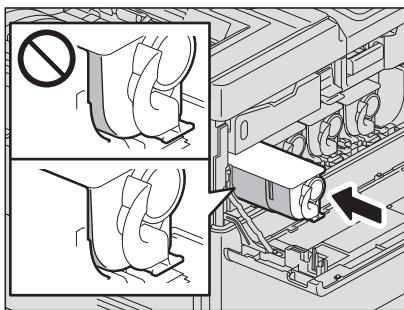
- 4** 新しいトナーカートリッジを、シールを上にして強く振って、中のトナーをほぐします。



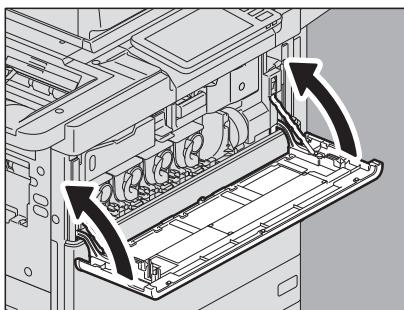
5 シールを、矢印の方向にまっすぐ引き抜きます。



6 新しいトナーカートリッジを、左側の面と平らになるまで押して入れます。

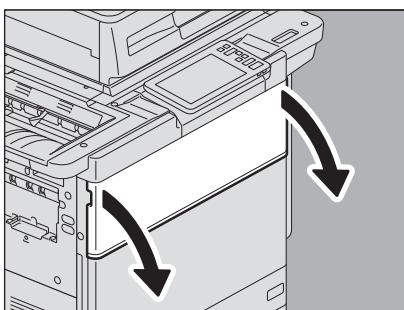


7 前面カバーの両端を押して閉めます。

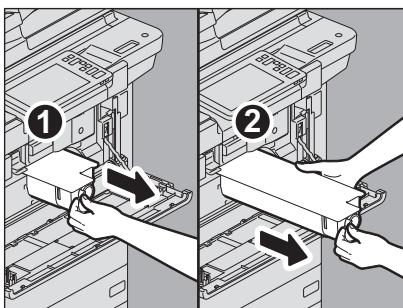


■ モノクロ機

1 本体の前面カバーを開けます。



2 トナーカートリッジを引き抜きます。

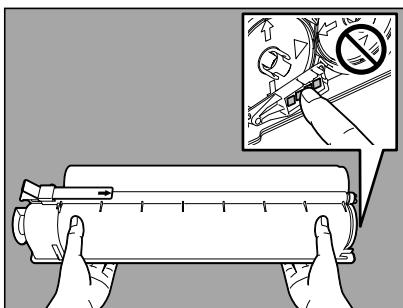


⚠ 警告

トナーカートリッジを火の中に入れないこと

火の中に入れると爆発・破裂の原因となります。また、使用済みのトナーカートリッジは、廃棄しないでください。弊社販売店のサービスエンジニアが回収します。

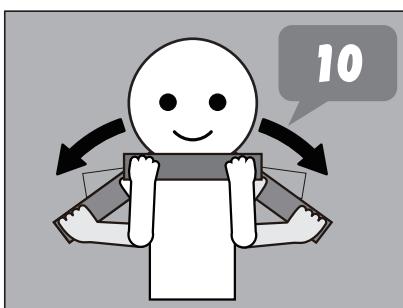
3 新しいトナーカートリッジを、シールを上にして持ちます。



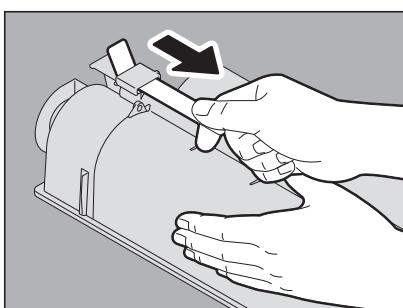
注意

基板上の金属接点に触れないでください。

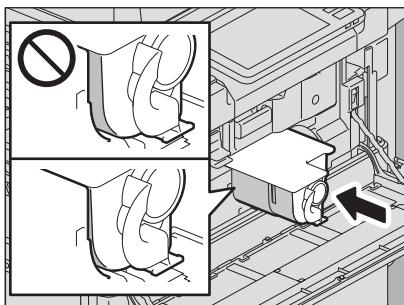
4 新しいトナーカートリッジを、シールを上にして強く振って、中のトナーをほぐします。



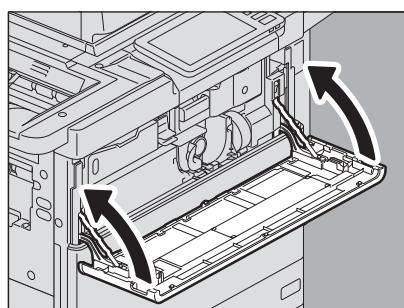
5 シールを、矢印の方向にまっすぐ引き抜きます。



6 新しいトナーカートリッジを、左側の面と平らになるまで押して入れます。



7 前面カバーの両端を押して閉めます。



■ トナーが完全になくなる前にトナーカートリッジを交換するときの対処

トナーカートリッジ内のトナーが残り少なくなると、画面上には「トナーが少なくなっています」というメッセージが表示されます。



このメッセージが表示されている間は、トナーカートリッジ内にトナーが残っています。この状態でトナーカートリッジを交換する必要はありませんが、もし交換したい場合は以下の手順に沿って交換してください。

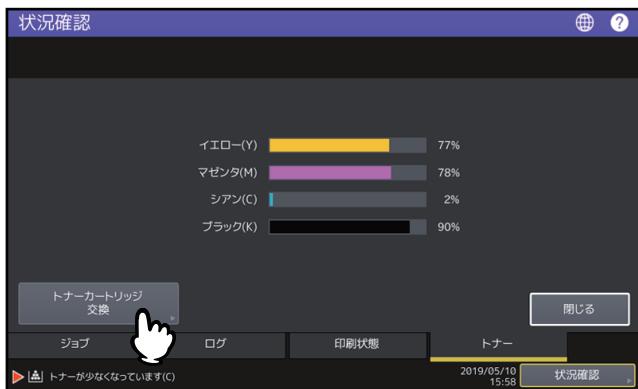
1 [状況確認] を押します。



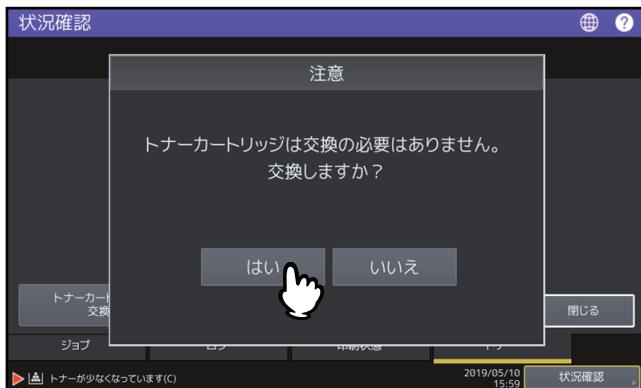
2 [トナー] タブを押します。



3 [トナーカートリッジ交換] を押します。



4 トナーカートリッジを交換してよければ【はい】を、交換しない場合は【いいえ】を押します。

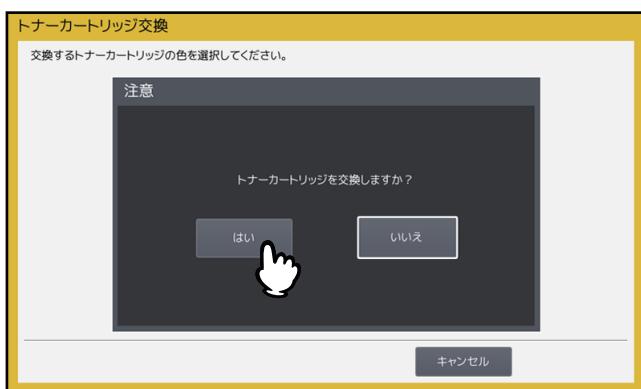


【はい】を押すと次の手順に進みます。【いいえ】を押すと前の手順に戻ります。

5 (カラー機の場合のみ) 交換するトナーカートリッジの色のボタンを押します。



6 (カラー機の場合のみ) トナーカートリッジを交換してよければ【はい】を、交換しない場合は【いいえ】を押します。



【はい】を押すと次の手順に進みます。【いいえ】を押すと前の手順に戻ります。

7 トナーカートリッジを交換します。

「トナーカートリッジの交換」(P.56) の手順に従って交換してください。

8 [交換終了] を押します。



廃トナー ボックスの交換

廃トナー ボックスが使用済みのトナーでいっぱいになると、廃トナー ボックス交換マークが点滅し、「廃トナー ボックスを交換してください」というメッセージが表示されます。その場合は以下の手順に従って、廃トナー ボックスを交換してください。

タッチパネルにガイダンスが表示されます。またはを押してガイダンスを前後にたどることができます。



⚠ 警告

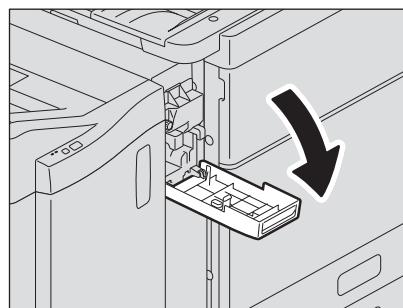
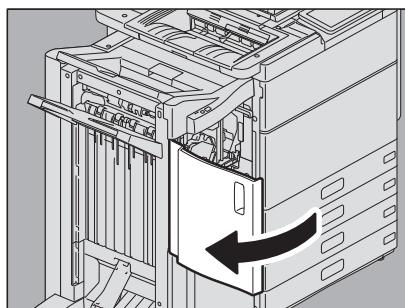
使用済みの廃トナー ボックスを火の中に入れないこと

火の中に入れると爆発・破裂の原因となります。また、使用済みの廃トナー ボックスは、廃棄しないでください。弊社販売店のサービスエンジニアが回収します。

1 フィニッシャを装着している場合は、フィニッシャを本体から離します。

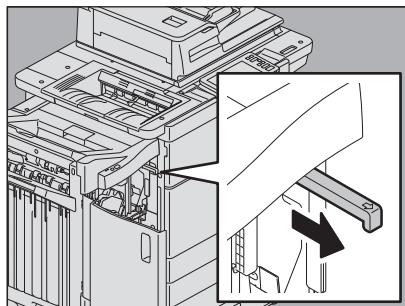
- ホールパンチユニットを装着していない場合は、フィニッシャの前面カバーを開けます。ホールパンチユニットを装着している場合は、ホールパンチユニットのカバーを開けます。

ホールパンチユニットを装着していない場合 ホールパンチユニットを装着している場合

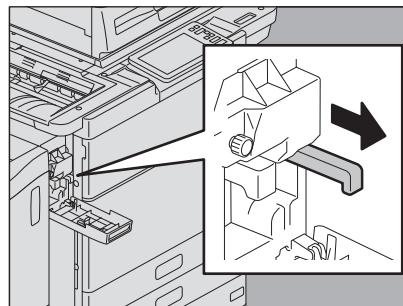


- レバーを引いてロックを外します。

ホールパンチユニットを装着していない場合

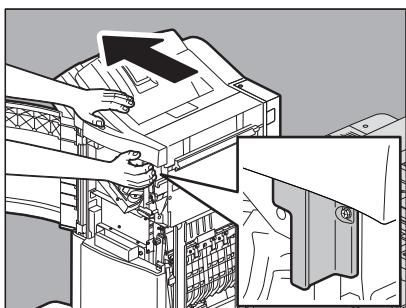


ホールパンチユニットを装着している場合

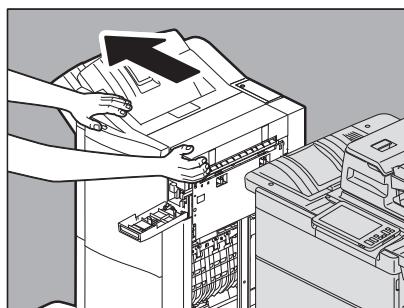


- 図の位置に手を添えて、フィニッシャを止まるまで静かに動かします。

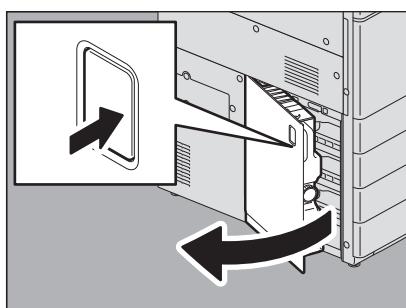
ホールパンチユニットを装着していない場合



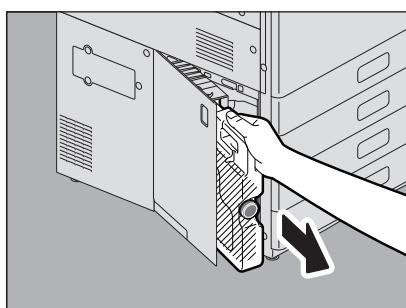
ホールパンチユニットを装着している場合



2 廃トナーボックスカバーのボタンを押して、カバーを開けます。



3 廃トナーボックスを取り出します。

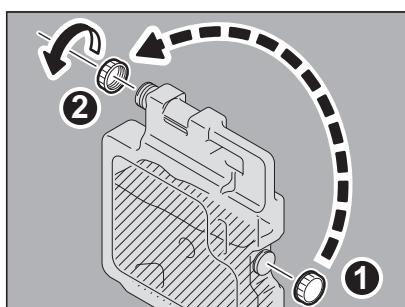


注意

廃トナーボックスを、廃トナー回収口のある面を下に向けないと
廃トナー回収口から使用済みのトナーがこぼれる恐れがあります。

4 廃トナーボックスの口にキャップをします。

1. 廃トナーボックスの手前にあるキャップを取り外します。
2. 廃トナーボックスの口にキャップをかぶせて、しっかりと閉めます。

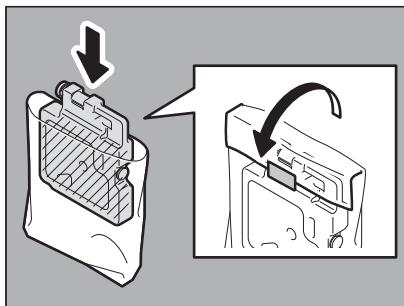


⚠ 警告

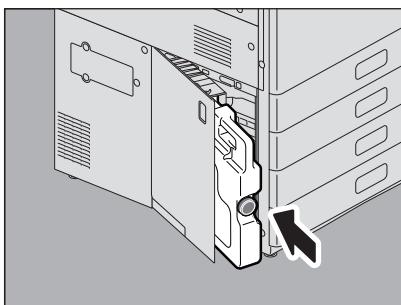
使用済みの廃トナーBOXを火の中に入れないこと

火の中に入れると爆発・破裂の原因となります。また、使用済みの廃トナーBOXは、廃棄しないでください。弊社販売店のサービスエンジニアが回収します。

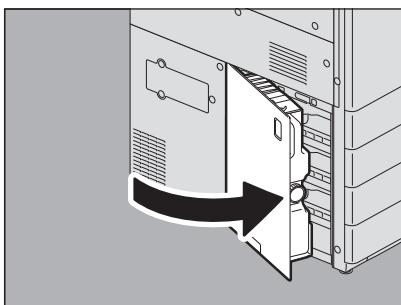
- 5 使用済みの廃トナーBOXを、新しい廃トナーBOXが入っていたビニール袋に入れます。
袋からトナーが漏れ出さないように、袋の口をテープでふさいでください。



- 6 新しい廃トナーBOXを、奥までしっかり差し込みます。



- 7 廃トナーBOXカバーを閉めます。



- 8 フィニッシャやホールパンチユニットを装着している場合は、フィニッシャの前面カバーおよびホールパンチユニットのカバーを閉めてから、フィニッシャを本体に接続します。



注意

手を図の位置に置き、静かに移動させてください。

⚠ 注意

フィニッシャと本体の間に手を挟まないように注意すること
けがの原因になります。

ステイプラの針の補充

フィニッシャおよびサドルステッチュニットのステイプラの針がなくなったときは、以下の手順に従って針を補充してください。

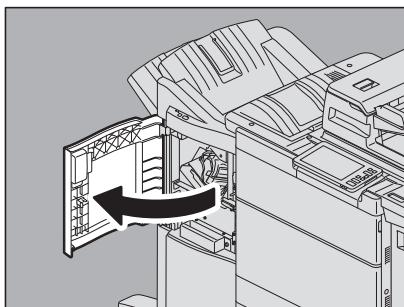
- P.68 「フィニッシャのステイプラ」
- P.69 「サドルステッチュニットのステイプラ」

注 意

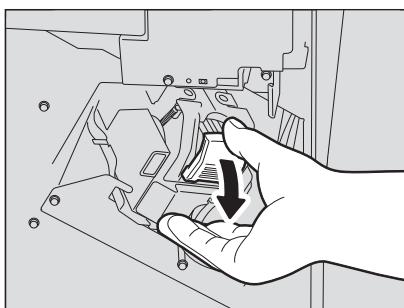
機器内部のコネクタに触れないように注意してください。故障の原因となります。

■ フィニッシャのステイプラ

- 1 フィニッシャの前面カバーを開けます。

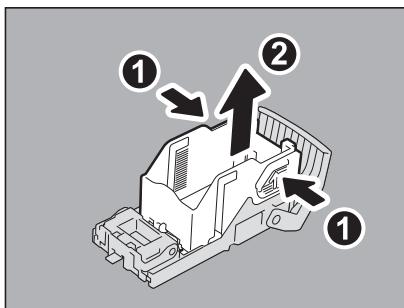


- 2 ステイブルカートリッジを取り外します。



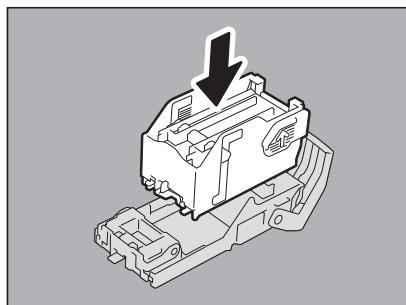
- 3 カートリッジから、空の針ケースを取り外します。

空の針ケースを、図のように両側から押しながら上へ引き上げます。



4 ステイプルカートリッジに、新しい針ケースを取り付けます。

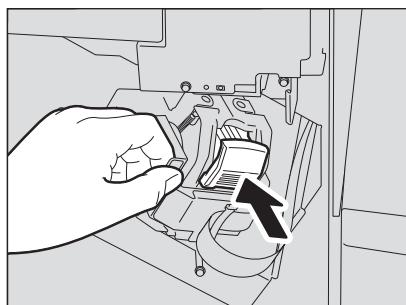
針ケースのフックをステイプルカートリッジの受け部に合わせ、カチッと音がするまで押し込んでください。



5 ステイプルカートリッジをステイプラに取り付けます。

カートリッジを取り付けるときは、ブラケットの緑色のラベル部分を片手でしっかりとつかんでブラケットを固定してください。

ステイプルカートリッジにツメが掛かり、カチッと音がして固定されるまで入れてください。



6 フィニッシャの前面カバーを閉めます。

補足

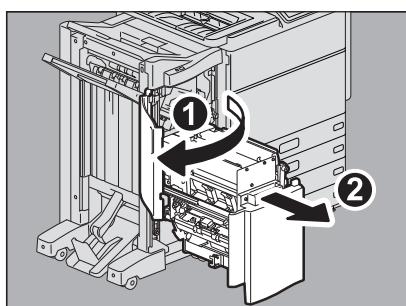
「ステイプラーの針を補給してください」というメッセージが消えない場合は、再度、手順1~6の操作を行ってください。

■ サドルステッチユニットのステイプラ

注意

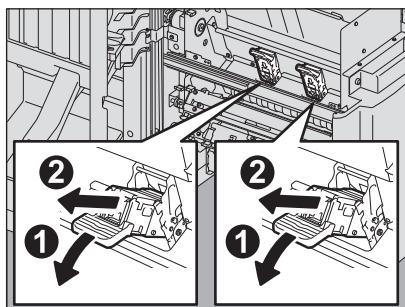
ステイプルカートリッジを取り外したまま、サドルステッチフィニッシャを使用しないでください。

1 フィニッシャの前面カバーを開け、サドルステッチユニットを止まるまで引き出します。



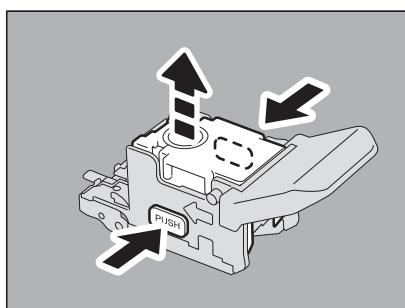
2 ステイプルカートリッジを取り外します。

カートリッジは2つとも同時に交換してください。

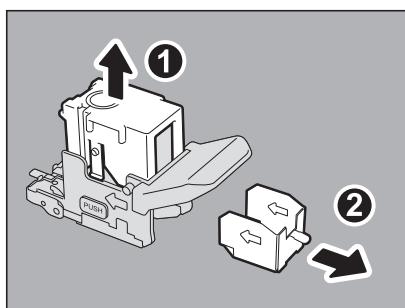


3 カートリッジの両側のボタンを押します。

カートリッジのクリアケースが上に引き上げられます。

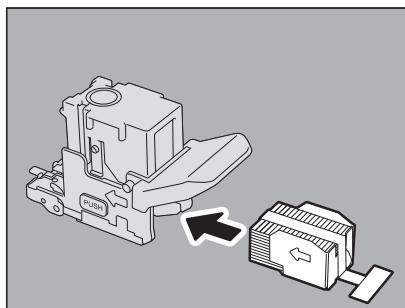


4 クリアケースを引き上げてから、空の針ケースを取り出します。



5 ステイプルカートリッジに、新しい針ケースを取り付けます。

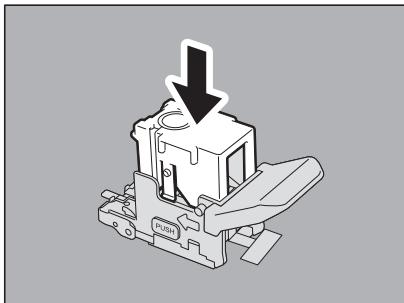
カチッと音がするまで押し込んでください。



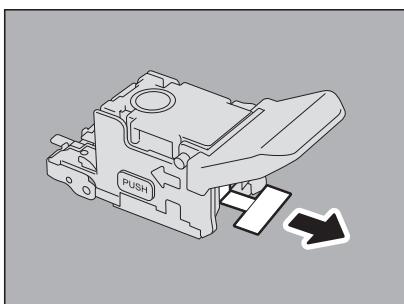
注意

針を留めているシールはまだはがさないでください。

- 6 カートリッジのクリアケースを押し下げます。**
カチッと音がするまで押し下げるください。

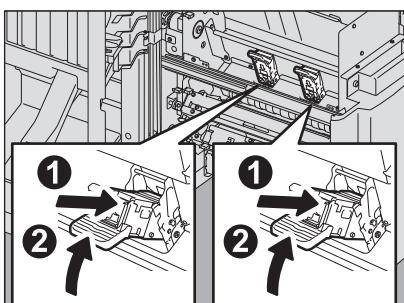


- 7 針を留めているシールをまっすぐ引き抜きます。**

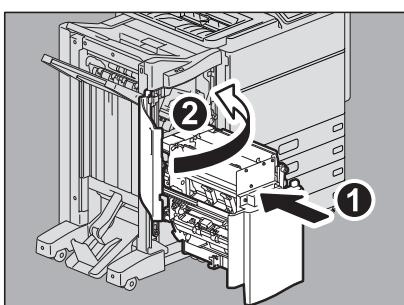


- 8 ステイプルカートリッジを取り付けます。**

ステイプルカートリッジにツメが掛かり、カチッと音がして固定されるまで入れてください。



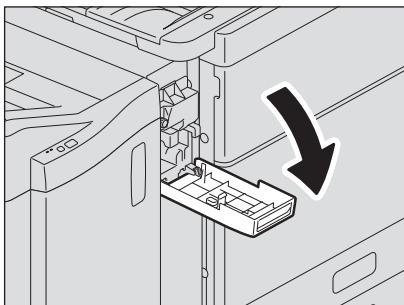
- 9 サドルステッチャユニットを元に戻し、フィニッシャの前面カバーを閉めます。**



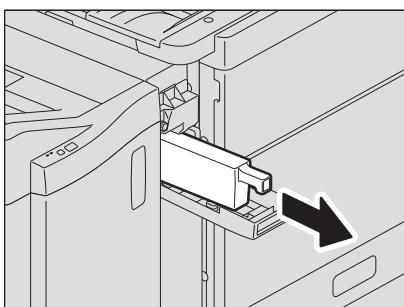
パンチ屑ケースの清掃

ホールパンチユニットのパンチ屑がいっぱいになったときは、以下の手順に従ってパンチ屑を捨ててください。

- 1 ホールパンチユニットのカバーを開けます。



- 2 パンチ屑ケースを引き出します。



- 3 パンチ屑を捨てます。

- 4 パンチ屑ケースを取り付けます。

- 5 ホールパンチユニットのカバーを閉めます。

2

故障かな？と思ったときは

故障と思われる場合、本章で説明する対処方法をお試しください。また、本章には日常のお手入れ方法と、保守サービスの連絡先についても記載されています。

故障かな？と思ったときは	74
操作全般について	74
原稿・用紙について	75
日常のお手入れ	77
保守サービスについて	78

故障かな？と思ったときは

本機をお使いになっていてトラブルと思われることが生じた場合は、以下の項目についてもう一度お確かめください。

補足

- ・コピーや印刷といった本機の各機能の操作方法を確認したいときは、それぞれコピーガイド、印刷ガイドなどの各取扱説明書に記載されています。
- ・操作方法や操作手順を再度確認することによって問題が解決する場合があります。ご使用中に分からないことがあるときやトラブルと思われるときは、それぞれの取扱説明書をあわせて参照されることをお勧めします。

■ 操作全般について

症状	原因	対処のしかた
本機がまったく動かない。	電源プラグがしっかりと差し込まれていない。	電源プラグを奥まで確実に差し込んでください。
	主電源スイッチがオフになっている。	主電源スイッチをオンにしてください。
画面に何も表示されない。 (主電源ランプと【節電】ボタンが点灯している。)	スリープモードになっている。	【節電】ボタンを押すとスリープモードが解除されます。 詳しくはかんたん操作ガイド第1章を参照してください。
	スーパースリープモードになっている。	【節電】ボタンを押すとスーパースリープモードが解除されます。 詳しくはかんたん操作ガイド第1章を参照してください。
画面に何も表示されない。 (主電源ランプのみ点灯している。)	本機の電源が入っていない。	【電源】ボタンを押してください。
画面が暗い。	画面のコントラストが低めに調整されている。	コントラストを高めに調整してください。 詳しくは設定管理ガイド第1章を参照してください。
操作パネル上のボタンが効かない。 (タッチパネルに「節電しています 復帰するには【節電】ボタンを押してください」と表示されている。)	低電力モードになっている。	【節電】ボタンを押すと低電力モードが解除されます。 詳しくはかんたん操作ガイド第1章を参照してください。
操作パネル上のボタンが効かない。 (主電源ランプと【節電】ボタンが点灯している。)	スリープモードになっている。	【節電】ボタンを押すとスリープモードが解除されます。 詳しくはかんたん操作ガイド第1章を参照してください。
	スーパースリープモードになっている。	【節電】ボタンを押すとスーパースリープモードが解除されます。 詳しくはかんたん操作ガイド第1章を参照してください。
操作パネル上のボタンが効かない。 (主電源ランプのみ点灯している。)	本機の電源が入っていない。	【電源】ボタンを押してください。
操作パネル上のボタンや、タッチパネル上のボタンが効かない。	システム上のトラブルが発生した。	【電源】ボタンを5秒以上押したままにするとシャットダウンされます。

症状	原因	対処のしかた
部門コードの入力画面が表示される。	本機が部門管理機能によって管理されている。	部門コードを入力してください。部門コードが分からぬ場合は、本機の管理者にお問い合わせください。
ユーザ情報の入力画面が表示される。	本機がユーザ管理機能によって管理されている。	ユーザ情報を入力してください。ユーザ情報が分からぬ場合は、本機の管理者にお問い合わせください。
画面にメッセージが表示される。	何らかのトラブルが発生した。(または通常動作時に表示されるメッセージが表示された。)	メッセージの意味を確認して対処してください。 □ P.12 「タッチパネルのメッセージ一覧」
本機が自動的に再起動した。	メモリや動作の異常を検知したため、本機の自動復旧機能が働き、再起動を行った。	再起動により、正常な状態に復旧しています。通常どおり、使用してください。

■ 原稿・用紙について

症状	原因	対処のしかた
原稿がつまる。	本機で使用できない原稿を使用している。	使用できる原稿かどうか確認してください。詳しくは用紙準備ガイド第2章を参照してください。
用紙がつまる。	本機で使用できない用紙を使用している。	使用できる用紙かどうか確認してください。詳しくは用紙準備ガイド第1章を参照してください。
	カセットや手差しトレイにセットした用紙のサイズが、本機に正しく登録されていない。	セットした用紙のサイズを正しく登録してください。 詳しくは用紙準備ガイド第1章を参照してください。
	カセット内のサイドガイドの内側にある上限表示より多く用紙をセットしている。	上限表示を超えないように用紙の量を調節してください。
	カセット内の用紙とサイドガイドや後端ガイドとの間が空き過ぎている。	用紙と、サイドガイドや後端ガイドとの間を空けないように調整してください。ただし、厚紙をセットしている場合で、その用紙がつまるときは、用紙とサイドガイドの間を少し空けてください。 詳しくは用紙準備ガイド第1章を参照してください。
	見づらいところにつまっている紙が取り除かれていません。	画面表示を確認して、紙づまりが起きている場所をもう一度確認してください。 □ P.18 「紙づまりの解除」
用紙が二重送りされる。	用紙どうしがくっついている。	用紙をよくさばいてからセットし直してください。

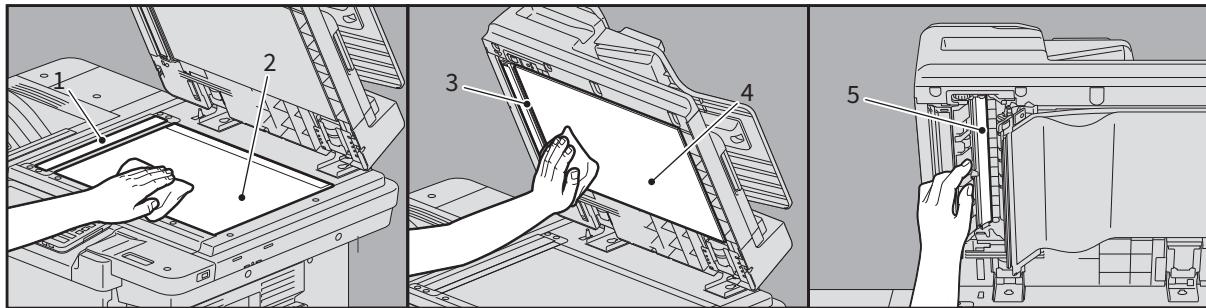
症状	原因	対処のしかた
用紙がきれいに排紙されない。	カセットにセットされている用紙の裏表が、本機にとって適当でない。	用紙の印字面を確認して、用紙を正しい向きにセットしてください。用紙の印字面は用紙の包装紙などに記載されている場合があります。 用紙の印字面が分からぬときは、カセット内の用紙を裏返して印刷し、きれいに排紙されるか試してください。
	用紙種類の設定が、使用している用紙に合っていない。	用紙種類の設定を、使用している用紙に合わせて正しく設定しているか確認してください。 詳しくは 用紙準備ガイド第1章 を参照してください。
カセットに用紙をセットしたが、用紙がないことを示すメッセージが消えない。	セットした用紙がそろっていない。	カセットから用紙を取り出し、用紙をよくそろえてからセットし直してください。
	カセット内のサイドガイドや後端ガイドの幅が用紙のサイズに合っていない。	サイドガイドや後端ガイドを用紙のサイズに合わせて調整してください。
	大容量給紙装置にセットした用紙の量が少な過ぎる。	用紙を大容量給紙装置にセットするときは、10枚以上セットしてください。
	カセットの奥に用紙がつまっている。	カセットを引き出して、カセットの奥に用紙がつまっているか確認し、取り除いてください。
	カセットの中に用紙以外のものが入っている。	カセットの中には用紙以外のものを入れないでください。

日常のお手入れ

常にゴミや汚れのない状態で原稿を読み取るために、1週間に1回程度、以下の部分をクリーニングするようお勧めします。

注意

- ・クリーニングする場所を傷つけないようご注意ください。
- ・機械を拭くときは、シンナー、ベンジンなどの有機溶剤を使わないでください。変形や変色の原因となります。
- ・化学ぞうきんを使う場合は、その注意書きに従ってください。



1. 原稿読み取り部（細長いガラスの表面）／2. 原稿ガラス

乾いた柔らかい布で拭いてください。汚れが落ちない場合は、水でぬらして固く絞った柔らかい布で拭いてください。水以外のもの（アルコール、有機溶剤、中性洗剤）は使用しないでください。

3. ガイド部／4. 原稿押さえ

汚れの程度により、以下の方法でクリーニングしてください。

- ・乾いた柔らかい布で拭く。
- ・水でぬらして固く絞った柔らかい布で拭く。
- ・アルコールを含ませて固く絞った柔らかい布で拭いた後、から拭きする。
- ・薄めた中性洗剤を含ませて固く絞った柔らかい布で拭いた後、水拭きしてから、から拭きする。

5. 両面同時原稿送り装置の原稿読み取り部（細長いガラスの表面）

乾いた柔らかい布で拭いてください。汚れが落ちない場合は、水でぬらして固く絞った柔らかい布で拭いてください。水以外のもの（有機溶剤、アルコール、中性洗剤）は使用しないでください。

前面カバーのクリーニング

前面カバーが汚れた場合は、柔らかい布で汚れを軽く拭き取ってください。

注意

- ・クリーニングする場所を傷つけないようご注意ください。
- ・硬い布、汚れた布、ティッシュペーパーは使用しないでください。

保守サービスについて

本機を安定した状態でご使用いただくための点検・保守・修理サービスの連絡先、およびサービスを依頼される場合にお客様よりお知らせいただく事柄について、以下に記載します。

次のような場合は、下記へご連絡ください。

- サービスエンジニアによる点検・保守・修理に関するお問い合わせ・ご依頼をされる場合
- 取扱説明書に記載が見当たらない事柄についてのお問い合わせ

修理を依頼されるときは

修理を依頼される前に、**P.74 「故障かな？と思ったときは」**に記載の各項目をご確認ください。簡単な対処で問題が解決されることがあります。対処を行っても問題が解消されない場合は直ちに使用を中止して、必ず電源プラグを抜き、サポートコールセンター（**かんたん操作ガイド**の裏表紙に記載）までご連絡ください。その際、次の内容をお知らせください。

商品名	e-STUDIO5516AC/6516AC/7516AC/6518A/8518A
お客様のご連絡先	お名前、おところ、お電話番号、事業所名、部署名
ご依頼事項	<ul style="list-style-type: none">• お困りの内容• 問題が生じる前に行っていた操作内容や状況• エラーメッセージやエラーコード（表示された場合はお知らせください） <p>これらについて、あらかじめメモを取っておかれるべく後で役に立ちます。</p>

補修用部品について

補修用部品の供給年限は、製造中止後7年間です。

お問い合わせ先

かんたん操作ガイドの裏表紙に記載しています。

個人情報の取り扱いについて

- お客様にご提供いただいた住所などの情報は、サービス活動およびその後の安全点検活動のために利用させていただきますので、ご了承ください。
- 修理のために、弊社から修理委託している保守会社などに必要な情報を委託する場合がございますが、個人情報保護法および弊社と同様の個人情報保護プログラムが遵守されるよう、適切な措置を取ります。

索引

え	
エラーメッセージ	
タッチパネル	12
か	
紙づまり	
紙を取り除くときのご注意	19
場所を画面で確認する	18
ひんぱんに起こるときは	20
用紙サイズの設定間違いによる	47
紙づまりの解除	
カセット	27
カセット給紙部	26
機体右側面	28
サドルステッチ部（オプション）	36
大容量給紙装置	24
中継ユニット	45
手差しトレイ	28
排紙部	42
フィニッシャおよびホールパンチユニット (共にオプション)	33
両面同時原稿送り装置下部	21
両面同時原稿送り装置上部	22
両面ユニット	31
く	
クリーニング	
ホールパンチユニットのパンチ屑ケース	72
こ	
故障かな?と思ったときは	74
さ	
サポートコールセンター	78
す	
スーパースリープモード	74
ステイプル針の補充	
サドルステッチユニット	69
スリープモード	74
て	
低電力モード	74
と	
トナーカートリッジの交換	56
カラー機	56
モノクロ機	58
トナーカートリッジの交換（完全になくなる前）	60
に	
日常のお手入れ	77
は	
廃トナーボックスの交換	64
針づまりの解除	
サドルステッチユニット	54
パンチ屑ケースの清掃	72
ふ	
部門コード	75

FC-5516AC/6516AC/7516AC
DP-6518A/8518A
OMJ17005300

東芝デジタル複合機

トラブルシューティングガイド [ハードウェア編]

e-STUDIO5516AC/6516AC/7516AC

e-STUDIO6518A/8518A

東芝テック株式会社

